

弘前大学 教育学部

Faculty of Education 2026



教育プロフェッショナルへ

CONTENTS〈目次〉

学部長メッセージ	2
教育学部の概要	3
入学定員と入学者選抜方法	5
取得できる教員免許状	6
学校教育教員養成課程	
初等中等教育専攻 小学校コース	7
中学校コース	9
特別支援教育専攻	11
養護教諭養成課程	13
初等中等教育専攻の学生が所属するサブコースの紹介	
教育科学	15
発達心理	16
幼児教育	17
国語	18
社会	19
数学	20
理科	21
音楽	22
美術	23
保健体育	24
技術	25
家庭科	26
英語	27
実践力の強化	
長期継続型実習	28
地域協働型教員養成プログラム	30
附属学校園	31
附属教育実践総合センター	32
附属教員養成学術研究開発センター	32
附属次世代ウェルビーイング研究センター	33
特別支援教育センター	33
国際音楽センター	33
国際交流	34
弘前大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻	35
福利厚生	37
課外活動	39
就職状況・進路	40
教職支援室	41
アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)	43
解決！よくある質問	44
弘前大学周辺地図とアクセスガイド	45

2年生から、
選択した
サブコースで、
卒業研究を
行います。



※この学部案内の内容は2025年4月現在の状況と、
2026年度の計画に基づいて作成されています。

の道

学部長メッセージ



教育学部長 高瀬 雅弘

そもそも教育学部って、どのような場だと思えますか？真っ先に思い浮かぶ答えは、学校の先生になるための勉強をするところ、もう少し詳しい方であれば、教育学や各教科に関する理解を深め、教育実習を通じて教員になるために必要な力を身につけるところ、といった答えが導かれるかもしれません。

しかし弘前大学教育学部での学びが目指すのは、単に先生に「なる」ということにとどまりません。「なる」ことの見通して、教員として「あり続ける＝生きる」ことが目標です。教員は長く人の成長と関わり、またそのキャリアを通じて自身も成長できる魅力ある仕事です。そこに必要なのは、少し難しい表現を用いますが、「他者と自己のウェルビーイングを追究することができる力」です。教員が他者＝子どものウェルビーイングを考えるのは当然のことのように思われます。しかしそれと同じくらい大切なのは、自己＝教員のウェルビーイングです。どちらか一方が欠けてしまうと、社会のウェルビーイングは実現しません。

こうした問題意識のもと、弘前大学教育学部はこれまでに培ってきた「教員養成カリキュラム」を基礎として、ウェルビーイングを追究するための2つの強力なエンジンを備えています。

ひとつは令和5年度に発足した「次世代ウェルビーイング研究センター」です。多元化する社会のなかで、ウェルビーイングのかたちも一様ではありません。地域や学校、個人によって異なるウェルビーイングとは何かをしっかりと考え、生涯にわたってその実現を志向するカリキュラムを生み出し、実践することを目指しています。

もうひとつは平成29年度に創設された「教職大学院」です。演習や実習を中心としたカリキュラムを通じて、様々な教育課題の解決に資する高度な「専門力」や「実践力」を培うことはもちろん、キャリアの各段階における研修を通じて、教員としてのウェルビーイングの向上を図り、ライフコースを支えます。

そして、地域の総合大学である弘前大学ならではの強みもあります。学部の枠を超えたりベラルアーツ＝教養教育科目と、広い視野から地域の課題について考える地域志向科目とが、学部・大学院での専門的な学びと連携して、地域にしっかりと根を張り、長く活躍できる教員を育むことができるのが弘前大学教育学部の特徴です。

この弘前大学教育学部で、皆さんの／私のウェルビーイングについて、一緒に考え、実践できることを願っています。



弘前大学教育学部は、
次世代の教育を担う教員養成の実現を目指し、
新たなチャレンジをしています。



地域で活躍できる「専門力」と「実践力」を持った教員の養成

小学校教員養成のための教育体制の充実

- 小学校教員養成に責任をもつ教育組織の導入
- 小・中一貫教育を視野に入れた教育カリキュラムの展開

総合大学の強みを生かした学部連携による教育体制の導入

- オール弘前大学体制：総合大学の強みを生かした学部連携（オール弘前大学）による教職キャリア支援体制の構築
- 地域課題探求型科目：「インクルーシブ教育」「健康教育」「環境教育」といった地域の教育課題へ対応できる教員の養成
- 弘前大学学部横断型副専攻プログラム：教養教育と専門教育とが融合し、学部間の垣根を超えるSTEAM教育の実践

時代の要請に応える教員養成カリキュラムの充実

- 「教わる側」から「教える側」へ：子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる専門的知識・技能と実践的指導力を兼ね備え、学校現場や学校を取り巻く地域で活躍できる教員を養成するカリキュラム
- 3つの科目群から構成された教員養成カリキュラム：児童・生徒そしてさまざまな人々に働きかけ、読みとり、働きかけ返す力をもつ教育プロフェッショナルを養成するカリキュラム



- 地域協働型教員養成：従来の教育実習に加え、地域の学校や教育委員会を介した教育活動を積極的に導入

卒業後速やかに教育現場で活躍できる人材の養成

教職キャリア教育の充実

- 現役学生及び卒業生を対象とした教職支援室における恒常的サポート体制
- 現場経験の豊富な教職支援アドバイザーによる教員採用試験サポート体制
- 卒業後の教職キャリア支援体制の充実と整備

専門力と実践力を兼ね備えた、地域から期待される教員の養成



「教わる側」から「教える側」へ、
「専門力の充実」と「実践力の強化」の側面から段階的に
教員への道のりをサポートします。



- 附属教育実践総合センター
- 特別支援教育センター
- 附属小学校
- 附属教員養成学研究開発センター
- 国際音楽センター
- 附属中学校
- 附属次世代ウェルビーイング研究センター
- 附属幼稚園
- 附属特別支援学校

学校教育教員養成課程

初等中等教育専攻

小学校コース

小学校コースでは、様々な教科にまたがる幅広い知識を持ち、教科指導だけでなく特別活動・生徒指導など小学校生活全般に必要な資質や能力を身に付け、学校現場のいろいろな課題に対応できる実践的指導力を持った小学校教員を養成します。

中学校コース

中学校コースでは、各々の専修において専門とする分野の学習を深めることにより、各々の教科の知識や技能を確実に身に付けるとともに、それを自信を持って指導できる実践的指導力を兼ね備えた中学校教員を養成します。

- 国語専修
- 社会専修
- 数学専修
- 理科専修
- 音楽専修
- 美術専修
- 保健体育専修
- 技術専修
- 家庭科専修
- 英語専修

特別支援教育専攻

特別支援教育に関する深い知識と技術を有し、特別支援学校や特別支援学級、通常学級など特別支援教育の現場で活躍することができる教員を養成します。

専門力

各専攻・コースで学習する専門の力

実践力

附属学校園、附属教育実践総合センター、附属教員養成学研究開発センターのサポートによる1年生から4年生まで長期にわたる教育実習関連科目の充実

養護教諭養成課程

専門職としての社会的責任を自覚し、その活動に必要な研究・研修を自ら進んで行うことのできる養護教諭を養成します。

専門力

養護学を基盤にした養護教諭活動に必要な専門知識と技能の習得

実践力

子どもたちの心と体の健康問題を解決し、子どもが生涯にわたって健康に生きる力を育むことができるような豊かな専門性、実践力の養成



2026年度 入学定員と入学者選抜方法

詳細については、弘前大学入試情報 HPにてご確認ください。(2027年度の定員、選抜方法についても同様にご確認ください。)



弘前大学 HP(入試情報)

学校教育教員養成課程初等中等教育専攻小学校コース 入学定員80名

入試区分	定員	共通テスト	個別学力検査等
総合型選抜Ⅱ	25	3教科3科目	集団討論、個人面接、出願書類(志望理由書)
一般選抜 前期日程	35	6教科8科目から 7教科8科目	現代の国語、言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ, 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 個人面接 } から1科目
一般選抜 後期日程	20	6教科8科目から 7教科8科目	個人面接

学校教育教員養成課程初等中等教育専攻中学校コース 入学定員50名

専修	入試区分	定員	共通テスト	個別学力検査等
国語	一般選抜 前期日程	7	6教科8科目から 7教科8科目	現代の国語、言語文化、個人面接
社会		7		現代の国語、言語文化、個人面接
数学		7		数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C、個人面接
理科		7		物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 個人面接 } から1科目
音楽	総合型選抜Ⅰ	3	課さない	実技、個人面接
美術		3		
保健体育		5		
技術		3		
家庭科	一般選抜 前期日程	3	6教科8科目から 7教科8科目	現代の国語、言語文化、個人面接
英語		5		英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ, 論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 個人面接

学校教育教員養成課程特別支援教育専攻 入学定員10名

入試区分	定員	共通テスト	個別学力検査等
総合型選抜Ⅰ	3	課さない	集団討論、個人面接、出願書類(志望理由書)
一般選抜 前期日程	5	6教科8科目から 7教科8科目	現代の国語、言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } から1科目 個人面接
一般選抜 後期日程	2	6教科8科目から 7教科8科目	個人面接

養護教諭養成課程 入学定員20名

入試区分	定員	共通テスト	個別学力検査等
総合型選抜Ⅱ	6	3教科3科目	集団討論、個人面接、出願書類(志望理由書)
一般選抜 前期日程	14	6教科8科目から 7教科8科目	化学基礎・化学 生物基礎・生物 個人面接 } から1科目

取得できる教員免許状

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

	取得可能な教員免許状		在学中に所属できるサブコース P.15～27をご覧ください。
	卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能	
	小一種	幼一種 (二種) 中一種 (二種) 高一種 特支一種(二種) (知・肢・病)	

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース

	取得可能な教員免許状		在学中に所属できるサブコース P.15～27をご覧ください。
	卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能	
国語専修	中一種(国)、高一種(国)※1		国語、教育科学、発達心理
社会専修	中一種(社)	高一種(地歴)(公民)※2	社会、教育科学、発達心理
数学専修	中一種(数)、高一種(数)※1		数学、教育科学、発達心理
理科専修	中一種(理)、高一種(理)		理科、教育科学、発達心理
音楽専修	中一種(音)、高一種(音)		音楽、教育科学、発達心理
美術専修	中一種(美)、高一種(美)※1		美術、教育科学、発達心理
保健体育専修	中一種(保体)、高一種(保体)		保健体育、教育科学、発達心理
技術専修	中一種(技)	高一種(工業)※3	技術、教育科学、発達心理
家庭科専修	中一種(家)、高一種(家)		家庭科、教育科学、発達心理
英語専修	中一種(英)、高一種(英)		英語、教育科学、発達心理

※1 2年生からのサブコース選択において、教育科学サブコースまたは発達心理サブコースを選択した場合は、高一種免許状取得のためには各々次のように「卒業所要単位」に追加履修する必要があります。
 国、数：1科目程度 美：1～2科目程度

※2 高一種(地歴)(公民)取得のためには地歴及び公民でそれぞれ必要な科目を追加履修する必要があります。

※3 高一種(工業)取得のためには4科目程度追加履修する必要があります。

学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

	取得可能な教員免許状		小学校コース、中学校コースの表に記載された他の免許状
	卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能	
	特支一種(知・肢・病) 小一種または中一種※4		

※4 中学校コースにあるいずれかの教科の免許状

養護教諭養成課程

	取得可能な教員免許状	
	卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能
	養護教諭一種	中一種(二種)(保健)、高一種(保健)

小学校コース (定員80名)

小学校教員は児童に全教科を教えるだけでなく、総合的な学習の時間、道徳、生徒指導、特別活動などの教育活動も担当します。小学校コースでは、そのために必要な幅広い知識と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目指しています。

小学校教員には教科指導と学級経営を両輪とした実践力が必要です。このために、教育学部教員養成学研究開発センターがいち早く開発した1年次から4年次までの実習・演習プログラムにより、附属小学校をはじめ公立学校と連携した様々な現場体験ができ、教師としての実践力が段階的に身に付けられるよう

なっています。さらに、子どもの実態をとらえるために、グループディスカッションを重ね、理解を深めています。こうしたプログラムと連動するように、文系・理系・芸術体育系に渡る様々な教科を、主体的・対話的に深く学びます。また、教師としての規範を意識しながら、教職科目を学びます。

このコースでは、主免許の小学校教員免許とともに、追加で単位を修得することで、副免許として種々の科目の中学校、高等学校の教員免許が取得可能であるとともに、幼稚園、特別支援学校の教員免許も取得可能です。

小学校教員養成のための教育体制の充実



主な授業科目

- 小学校国語基礎
- 小学校社会基礎
- 小学校算数基礎
- 小学校理科基礎
- 小学校音楽基礎
- 小学校図画工作基礎
- 小学校体育実技基礎
- 小学校家庭科基礎
- 小学校専門生活
- 小学校英語基礎
- 小学校理科・家庭科実験
- 小学校算数演習
- 小学校音楽実技
- 小学校図画工作演習
- 小学校体育実技
- 小学校家庭科実習
- 小学校国語講義
- 小学校社会講義
- 小学校音楽講義
- 小学校図画工作講義
- 小学校体育講義
- 小学校英語演習

入学志願者へのメッセージ

小学校教師には、クラス担任等を通して子どもたちのよさを多面的にとらえられる豊かな機会があります。皆さんには、以下の取組みを期待します。

- 「学びとは何か」を探究し、日々の学習等に活かすようにすること
- 子どもをみる眼を鋭くするために、普段から他者のアイデアに着目すること
- 仲間と協働して、物事のよりよい解決を目指そうとすること

主な出身高等学校

- 青森県／● 弘前高校 ● 弘前中央高校 ● 弘前南高校
● 青森高校 ● 青森東高校 ● 青森南高校
● 八戸高校 ● 八戸北高校 ● 八戸東高校
● 八戸西高校 ● 五所川原高校 ● 黒石高校
● 三沢高校 ● 三本木高校 ● 田名部高校
● 木造高校 ● 東奥義塾高校
● 弘前学院聖愛高校 ● 青森山田高校
- 北海道／● 苫小牧東高校 ● 函館中部高校
● 札幌国際情報高校 ● 札幌清田高校
● 札幌第一高校 ● 北海道栄高校
- 岩手県／● 盛岡第一高校 ● 盛岡第三高校
● 盛岡市立高校 ● 釜石高校 ● 宮古高校
● 軽米高校
- 秋田県／● 秋田高校 ● 大館鳳鳴高校 ● 本荘高校
● 湯沢高校 ● 能代高校 ● 能代松陽高校
- 宮城県／● 仙台向山高校 ● 古川高校 ● 気仙沼高校
- 山形県／● 山形南高校 ● 寒河江高校 ● 新庄北高校
- 福島県／● 福島高校 ● 福島西高校 ● 安積黎明高校

主な就職・進学先

- 公立小学校／● 青森県 ● 岩手県 ● 宮城県 ● 栃木県
● 茨城県 ● 東京都 ● 千葉県 ● 札幌市
● 川崎市 ● 相模原市 ● 新潟市
- 公務員／● 市役所 ● 公立学校 ● 警察
● 国立病院機構
- 民間企業／● 教育関連 ● 銀行 ● 金融関連
● 不動産関連
- 進学／● 弘前大学大学院 ● 北海道大学大学院
● 東北大学大学院



基礎ゼミで調べたことの発表会



基礎ゼミではレクもあります



サブコースを選びます



英語教育にもしっかり対応



子ども1人1人としっかりやりとりします



授業観察後の協議会の様子です

在学中の所属サブコース

2年生から
選択したサブコースで卒業研究を行います。

- 教育科学……………15
- 発達心理……………16
- 幼児教育……………17
- 国語……………18
- 社会……………19
- 数学……………20
- 理科……………21
- 音楽……………22
- 美術……………23
- 保健体育……………24
- 技術……………25
- 家庭科……………26
- 英語……………27

学生からの
メッセージ

弘前大学教育学部の魅力は、教育実習が豊富なところ。いきなり教壇に立って授業をせず、1年次と2年次の実習で、先生方や先輩の実習生の授業を多く観察してから、3年次の教育実習(集中)に臨むことができます。初めての授業で緊張したり、不安に思ったりするかもしれませんが、たくさんの子どもの笑顔に接することができて、とても楽しいです。2週間という短い期間ですが、教師のやりがいや楽しさを感じ、将来の教師像について深く見つめ直すことができます。

小学校コースでは、小学校教諭免許だけではなく、他校種の免許も取得することができます。さらに、サブコースに所属して専門的な研究を進めることができます。自分が興味のある領域について深く学ぶことができます。小学校教員をめざす人はもちろん、校種や進路で迷っている人、少しでも教師になりたいと思っている人にもおすすめです。進路や学校生活に悩んだときには、1人で抱え込まず、経験豊富な先生方や先輩、友人などに相談するとよいと思います！

私たちと一緒に充実したキャンパスライフを過ごしましょう!!

(令和3年度入学) 小笠原 蓮



中学校コース (定員50名)

中学校教員は、各々の専門教科に関して深い理解と豊富な知識、優れた技能を持って指導に当たることにより、その教科に対する生徒の興味や関心を引き出すことができます。中学校コースでは中学校教員に必要な教科指導力を養うために、各々の専門教科について基礎的な授業を受講した後、より高度な知識や技能を身に付けるための発展的な授業を受講できるカリキュラムを組んでいます。

また、教科以外にも学校現場で直面する様々な課題に対し柔軟に対応できる実践力を兼ね備えた教員の養成を目指していま

す。長期継続型教育実習である「Tuesday実習」や「学校サポーター実習」等は弘前大学教育学部ならではの教育臨床プログラムであり、教員として即戦力となる実践的指導力を身に付けることができます。

このコースでは、主免許である各教科の中学校教員免許に加えて、追加で単位を修得することで、副免許として小学校教員免許や他の教科の中学校教員免許が取得可能であり、新しい教育体制である小中一貫教育にも対応しています。

中学校教員養成のための教育体制の充実



主な授業科目

共通	人間教育論Ⅰ、教育課程論、教育方法論、環境教育概論
中学校(国語)	日本語学Ⅰ、日本文学Ⅰ、漢文学Ⅰ、書道Ⅰ
中学校(社会)	日本史、地理学概論、法学概論、社会学Ⅰ、哲学Ⅰ
中学校(数学)	線形代数概論、変換と幾何学、論理・集合・写像、数学基礎A
中学校(理科)	基礎物理学Ⅰ、基礎化学Ⅰ、基礎生物学Ⅰ、基礎地学Ⅰ
中学校(音楽)	ソルフェージュⅠA、独唱Ⅰ、合奏および和楽器、音楽理論Ⅰ

中学校(美術)	素描、絵画基礎、彫刻基礎、デザイン基礎、美術史基礎
中学校(保健体育)	体育学Ⅰ(体育原理・体育社会学)、基本実技1(体づくり運動・器械運動)、スポーツ運動学、学校保健
中学校(技術)	木材加工技術基礎、機械技術基礎、栽培技術基礎、情報技術基礎
中学校(家庭)	家庭経営学Ⅰ、被服学Ⅰ、食物学Ⅰ、住居学Ⅰ、保育学Ⅰ
中学校(英語)	英文法Ⅰ、英米文学史Ⅰ、英米文学購読Ⅰ、コミュニケーションⅠA



在学中の所属サブコース

2年生から
選択したサブコースで卒業研究を行います。

- 教育科学……………15
- 発達心理……………16
- 国語教育……………18
- 社会……………19
- 数学……………20
- 理科……………21
- 音楽……………22
- 美術……………23
- 保健体育……………24
- 技術……………25
- 家庭科……………26
- 英語……………27

主な出身高等学校

- 青森県／●弘前高校 ●弘前中央高校 ●弘前南高校
●青森高校 ●青森東高校 ●青森北高校
●青森南高校 ●八戸高校 ●木造高校
●五所川原高校 ●三本木高校 ●田名部高校
●東奥義塾高校 ●弘前学院聖愛高校
●青森明の星高校
- 北海道／●札幌月寒高校 ●札幌手稲高校
●函館中部高校 ●小樽潮陵高校
●苫小牧東高校 ●北広島高校
●函館高校
- 岩手県／●盛岡第一高校 ●花巻北高校
●一関第一高校 ●久慈高校
- 宮城県／●宮城第一高校
- 秋田県／●能代高校 ●本荘高校
- 山形県／●鶴岡南高校
- 福島県／●福島高校
- 釧路・札幌／●鹿沼東高校 ●國學院大學栃木高校
●長野吉田高校

主な就職・進学先

- 公立中学校／●青森県 ●北海道 ●岩手県
●宮城県 ●秋田県 ●山形県
●千葉県 ●新潟県 ●長野県
- 公務員／●市役所 ●公立学校
- 民間企業／●教育関連 ●不動産関連
●営業・販売関連
- 進学／●弘前大学大学院



学生からの
メッセージ

弘前大学教育学部の魅力は、継続的な実習があることです。1年生では、地域での学習指導と中学校で授業観察をする地域コラボレーション演習と教職入門、2年生では、教師の1日や先輩の授業観察をする学校生活体験実習、3年生では、実際に授業を考え授業を行う集中実習・Tuesday実習、4年生でもサポーター実習などで授業を実践でき、教師像を明確にし、経験を豊富に積んでから教員の道に進むことができます。

私は、3年間の継続的な実習のおかげで、自分の成長を感じています。入学当初は、「教壇に立って授業なんかできない」と思い込んでいましたが、本学で専門的な知識と教育的な知識の両方を身につけたおかげで、教育実習で授業をすることができました。ですので、不安だ、という方も大丈夫です！丁寧な授業、指導が自身の成長に必ず繋がります。

中学校コースの各サブコースでは、先生方の親身な指導に加え、同じ教科の仲間と励まし合ったり教え合ったりしながら専門的な知識を身につけることができます。また、他教科の人と交流する機会もあり、専門分野外のことも広く学ぶことができます。私たちの大きな壁である実習を乗り越えると、教職以外のことも話せる友達がたくさんできますよ！

弘前大学では、学業やキャリアに関してサポートが充実しているため、安心して大学生活を過ごせると思います。皆さんが夢に向かって一歩を踏み出し、成長することを楽しみにしています！

(令和4年度入学) 小林 涼香



特別支援教育専攻 (定員10名)

特別支援教育専攻は、特別支援学校をはじめ、特別支援学級や通常の学級など、特別支援教育の現場で活躍することができます。深い知識や技術を有した教員の養成を目的としています。

現在、全国から集まったおよそ40名余の学生たちが勉強しています。

特別支援学校は、障害などで特別な教育的支援を必要とする子どもたちの教育を行う学校です。特別支援学校の教員になる

ためには、小学校または中学校の教員免許状を取得した上に、さらに特別支援学校の教員免許状を取得する必要があります。

専門科目は1年次から開始され、附属特別支援学校での学校生活体験実習(2年次)、特別支援学校、小学校または中学校での教育実習(3年次)、特別支援教育相談支援への参加(3年次)などを経て、実践的・専門的技能を高めていきます。



主な授業科目

- 特別支援教育の基礎理論
- 特別支援学校の教育課程
- 特別支援教育の原理と歴史
- 知的障害者の心理
- 知的障害者の生理・病理
- 知的障害者の指導法
- 肢体不自由者の心理・生理・病理
- 肢体不自由者の指導法
- 小児疾患
- 病弱者の指導法
- 視覚障害者教育総論
- 聴覚障害者教育総論
- 重度・重複障害者教育総論
- 自閉症・情緒障害者教育総論
- LD者等教育総論
- 言語障害者教育総論
- 特別支援教育体験実習
- 特別支援学校教育実習
- 特別支援教育相談支援
- 臨床発達心理学演習
- 精神衛生

入学志願者へのメッセージ

特別支援教育にたずさわる人材には、各教科の学習内容に加えて、働きかける子どもの特性に応じた教え方・伝え方の工夫が求められます。それをふまえて入学志願者の皆さんには、右の3つの取り組みを期待しています。

- ①国語・数学など各教科の基礎的学習内容をしっかりと身につけること。
- ②学校・施設見学やボランティア活動に継続的に取り組み、子どもの生活の実際を知ること。
- ③特別支援教育に関連するトピックスについて、書籍やニュースなどを通じて、普段から関心をもつこと。

教員紹介

■ 中山 忠政

(特別支援教育の基礎理論)
障害の原理と歴史、障害者福祉論

■ 増田 貴人

(特別支援教育に関する心理)
発達支援、心理、運動・身体活動

■ 天海 丈久

(特別支援教育の指導法)
教育課程、指導・支援方法

学生からの
メッセージ



特別支援教育専攻を考えているあなたへ。特別支援教育専攻では、障害のある児童生徒に対する教育について学ぶことができます。特別支援教育について、あまり聞きなれない人もいますかと思いますが、この専攻では基礎的な知識から専門的な知識まで段階を踏んで学ぶことができます！また、講義だけでなく実習やボランティア活動も充実しているため、自分の実践力を高める機会もたくさんあります。学習を重ねていくことで、特別支援教育の必要性や魅力を実感することができる専攻です！

また、学年の仲間と協力しながら学ぶことができ、先生方も親身になってサポートして下さいます。ぜひ、私たちと一緒に特別支援教育を学びませんか？

(令和4年度入学) 三上未祿



卒業所要単位で取得可能な教員免許状

- ▼小学校コース選択
特別支援学校教諭一種免許状
(知・肢・病)
小学校教諭一種免許状
幼稚園教諭一種免許状 ※1

- ▼中学校コース選択
特別支援学校教諭一種免許状
(知・肢・病)
中学校教諭一種免許状
高等学校教諭一種免許状 ※2

※1 卒業所要単位に追加履修することで、取得できます。
※2 ただし、国語、数学は1科目程度、美術は1～2科目程度、工業は4科目程度、地理歴史、公民は、それぞれ必要な科目を卒業所要単位に追加履修する必要があります。

主な出身高等学校

- 青森県／●弘前高校 ●弘前中央高校
●弘前南高校 ●青森北高校
●八戸東高校 ●八戸西高校
●五所川原高校 ●田名部高校
●三沢高校 ●木造高校
●弘前学院聖愛高校
- 北海道／●旭川東高校 ●函館中部高校
●北海高校 ●札幌日大高校
- 岩手県／●一関第一高校 ●黒沢尻北高校
●盛岡第二高校
- 秋田県／●能代高校 ●湯沢高校
- 秋田県／●仙台向山高校
- 福島県／●福島高校
- 東／●佐野高校 ●真岡高校 ●武蔵高校
- 中部／●屋代高校 ●佐渡高校
●高岡南高校

主な就職・進学先

- 特別支援学校／●青森県 ●北海道
●岩手県 ●宮城県
●千葉県 ●東京都
●神奈川県 ●静岡県
●岐阜県 ●長野県
●札幌市 ●仙台市
●山形県 ●石川県
- 小・中学校(特別支援学級を含む)／
●青森県 ●北海道
●宮城県 ●秋田県
●茨城県 ●札幌市
●仙台市
- 進学、その他、地方公務員、民間企業／
●東京学芸大学教職大学院
●障害者福祉施設等



養護教諭養成課程 (定員20名)

養護教諭は、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理によって、児童生徒の発育発達を支援していく教育職員です。養護教諭の仕事には、けがや病気の手当・健康診断に関すること・心とからだの健康問題への相談的対応・学校環境の整備・健康を守り育てるための健康教育等があり、高度な専門的知識や実践力が求められます。

本課程には、養護学・教育保健・小児保健・学校看護学・公衆

衛生学を専門とする教員が在籍し、養護教諭を目指す学生に幅広い指導を行っています。また本課程の学生は、学生同士が主体的・協力的に学び合う雰囲気があり、授業での討議、実習、教員採用試験に向けた勉強も力を合わせて行っています。

弘前大学は、国立大学法人として、東北では唯一の養護教諭養成課程を設置する大学です。



養護学基礎実習(聴力検査)

主な授業科目

- 養護学概論 ● 養護学基礎実習 ● 養護学演習Ⅰ ● 養護学演習Ⅱ ● 養護学実習
- 性の発達と個人 ● 学校看護学 ● 学校看護学演習 ● 学校看護学実習
- 救急処置実習 ● 臨床看護学演習 ● 臨床実習 ● 学校保健(学校安全を含む)
- 学校保健研究Ⅰ ● 学校保健研究Ⅱ ● 保健科教育概論 ● 学校安全特論
- 健康相談活動の理論と方法 ● 母性保健 ● 衛生学及び公衆衛生学Ⅰ(予防医学を含む)
- 衛生学及び公衆衛生学Ⅱ ● 衛生学及び公衆衛生学実習 ● 解剖学Ⅰ ● 生理学
- 病理学 ● 微生物学(免疫学を含む) ● 薬理概論 ● 栄養学及び食品学
- 小児科学Ⅰ(小児保健を含む) ● 小児科学Ⅱ(救急処置を含む)
- 臨床医科学Ⅰ[内科学] ● 臨床医科学Ⅱ[救急・災害医学]
- 臨床医科学Ⅲ-1[歯科、皮膚科、耳鼻科、眼科、整形外科]
- 臨床医科学Ⅲ-2[精神科]

入学志願者へのメッセージ

養護教諭には子どもの健康を守り、育てるという役割があります。このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには、以下のことへの取り組みを期待します。

- 子どもたちの心と体の健康に関する基礎的な学習に取り組むこと。
- 様々な人と積極的に関わりをもち、コミュニケーション能力を高めること。
- 身の回りで起こっている健康に関する課題やテーマに興味を持ち、調べること。

主な出身高等学校

- 青森県／●弘前高校 ●弘前中央高校
●弘前南高校 ●青森高校 ●青森東高校
●八戸高校 ●八戸北高校
●五所川原高校 ●三沢高校
●三本木高校 ●田名部高校
- 北海道／●北広島高校 ●札幌稲雲高校
●苫小牧東高校 ●帯広三条高校
- 岩手県／●釜石高校 ●盛岡第四高校
●黒沢尻北高校 ●盛岡第三高校
●花巻北高校 ●水沢高校
●西和賀高校
- 宮城県／●石巻高校 ●古川黎明高校 ●白石高校
- 秋田県／●秋田高校 ●秋田南高校 ●秋田北高校
●秋田中央高校 ●大館鳳鳴高校
●大曲高校 ●能代高校 ●能代松陽高校
●本荘高校 ●明桜高校 ●横手高校
- 山形県／●鶴岡北高校 ●寒河江高校
- 福島県／●会津高校
- 関東・北陸／●柏崎高校 ●安房高校 ●宇都宮北高校
●下館第一高校
- 近畿・中国／●松江南高校 ●府中高校
●吉田高校 ●広高校
- 九州・沖縄／●白陽高校
- 東海／●沼津高校

主な就職・進学先

- 公立学校／●青森県 ●北海道 ●岩手県
●秋田県 ●宮城県 ●神奈川県 ほか
- 民間企業／●教育関連 ●生活関連 ほか
- 進学／●弘前大学大学院
- 公務員／●地方公務員

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

養護教諭一種免許状

※中学校教諭一種(二種)免許状(保健)と高等学校教諭一種免許状(保健)については、卒業要件単位の他に7科目程度の追加履修で両方が取得できます。



養護学実習 ぼんじゅ活動



救急処置実習



養護学実習 ぼんじゅ活動



小児科学Ⅱ(救急処置を名付)



養護学基礎実習(身体測定)

教員紹介

- 新谷 ますみ(養護学)
養護教諭の職務の特質に関する研究
- 清水真由美(学校看護学)
- 相馬 優樹(公衆衛生学)
学童期・青年期・成人期の健康増進に関する研究
- 島田美智子(小児保健)
- 原 郁水(教育保健)
保健科教育・学校保健に関する研究

養護教諭養成課程の
主な年間行事

- 4月 ■ 新入生歓迎会
- 8月 ■ オープンキャンパス
(養護教諭養成課程説明会)
- 9月 ■ 救急法講習会(2年生)
- 10月 ■ 総合文化祭(保健室)
- 12月 ■ 所属ゼミの決定(2年生)
- 12月 ■ 卒業論文中間発表会(4年生)
- 2月 ■ 卒業論文発表会
- 卒業生送別会

学生からの
メッセージ

皆さんは保健室といえばどのようなイメージをもつでしょうか。保健室にはけがや病気の手当てや健康診断での測定、保健室だよりの発行など学校生活において、様々な面で健康を支えてくれた養護教諭の先生を思い出すのではないのでしょうか。

弘前大学養護教諭養成課程では様々な分野の専門家の先生のご指導のもと、医学的・看護的知識のみならず、学校教員としての教育的な素養も身につけることが出来ます。また1年生から行われる多くの教育実習を通じて、高度な実践力も養うことができます。自分が理想とする養護教諭について追求することは大変なこともあります。同じ夢を持つ仲間たちと切磋琢磨して過ごす学生生活は、とてもかけがえのないものとなります。皆さんも、この弘前大学で充実したキャンパスライフを送ってみませんか。

(令和4年度入学) 渡 邊 遥



教育科学 サブコース

入学後、教育科学
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース (P.6を参照)

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースすべての専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種
高一種※

※所属専修の教科 P.6を参照
ただし 国語、地理歴史、公民、数学、美術、工業については
卒業所要単位に追加履修することで取得できます。

教育科学では、教育方法学、教育史、教育制度論(教育行政学)、社会教育学、教育社会学等の様々な視角から、教育の過去・現在・未来について考えていきます。

学校経営や教育方法、「教科外領域」や新しい領域の指導を得意とする教職に強い教員養成を目指します。教育に関わる諸問題、たとえば、学力問題、教育をめぐる不平等、開かれた学校づくり、地域と学校の関係、教員養成・採用・研修と身分保障、諸外国の教育などについて、将来教員として広い視野から考え向き合っていくために求められる能力を養います。

また教育科学では、前・後期末に一回ずつ「教室協議会」を開催し、所属の教員と学生間の率直な意見交換を通して、協働して教育科学の民主的運営を実践しています。



入学志願者へのメッセージ

教育科学は教育におけるさまざまな事象についていろいろな角度から議論する学問です。

入学志願者の皆さんには以下のことに取り組むことを期待します。

- 教育問題や教育そのものについて幅広く興味・関心を持つこと。
- 自分が学んだことについて、自分なりの言葉で他の人と交流し、ともに学びを深めていくような態度を形成すること。
- 自分で足を運び、実際に目で見て、耳で聞き、事実を根拠に自分なりの思考をしようとする意欲を持つこと。



主な授業科目

- 教育方法特殊講義
- 教育方法演習
- 教育社会学・教育史特殊講義
- 教育社会学・教育史演習
- 現代教育政策論
- 学校経営法規演習
- 教育学特殊講義
- 教育学演習
- 社会教育特殊講義
- 社会教育演習
- 教育科学演習

教員紹介

- 森本 洋介 (教育方法学)
多様な教育方法と学習者の評価のあり方
メディア・リテラシー教育
- 福島 裕敏 (教育社会学・教育史)
学校の歴史・社会学的研究
教員の専門性・専門職性
- 宮崎 充治 (教育学)
総合的な学習
演劇と教育
- 中村 恵佑 (教育行政学)
大学入試政策・制度
教育政策の政策過程分析
- 越村 康英 (社会教育学)
学習を核とした地域づくり
地域と学校の連携・協働



入学後、発達心理
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース (P.6を参照)

発達心理 サブコース

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種
高一種※

※所属専修の教科 P.6を参照
ただし 国語、地理歴史、公民、数学、美術、工業については
卒業所要単位に追加履修することで取得できます。

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースすべての専修

発達心理サブコースは、臨床心理学、発達心理学、社会心理学、教育心理学など様々な心理学を学ぶことで、心理学的素養を備えた教員の育成を目指します。

心理学は人間行動の法則を探る厳密な科学的視点から、個々の人間をまるごととらえる視点まで、さまざまな角度から人間に迫る学問です。そのため授業形態も講義や演習のような座学ばかりでなく、実習や実験などさまざまです。学校現場や教育場面において、心理学的素養が必要となるのはカウンセリングの面だけではなく、子どもたちの育ちや友人関係、学習など数多くの面で心理学的素養は必要となります。発達心理サブコースでは、心理学と教育について深く学ぶことができると言えるでしょう。

発達心理サブコースの学生は授業やゼミを通じて学年を超えた交流を深めています。学生の中には、心理学の知見を生かしたボランティア活動を通じて、地域の子どもの健全育成支援を行う者もいます。この発達心理サブコースでの学びは、心理学的理論と教育実践の往還による教員としての普遍的な力を身につけることに役立ちます。



入学志願者へのメッセージ

発達心理では、心理学の観点から人間の発達と、個人と社会の関わりの在り方について考えます。

このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには以下のことへの取り組みを期待します。

- 子どもと大人の違いについて関心を持つこと
- 身の回りにいる人たちをよく観察し、その多様性について理解を深めること
- 子どもの学びの仕組みを分析的に観察すること
- 学問的に価値の認められている心理学に関する本をたくさん読むこと
- 心理学と統計学との関係について理解を深めること

主な授業科目

- 心理学概論Ⅰ
- 心理学概論Ⅱ
- 心理測定と統計
- 心理学基礎実習
- 心理学課題研究
- 心理学演習
- 臨床心理学
- 発達心理学
- 社会心理学
- 教育心理学

教員紹介

- 田名場 忍 (社会心理学・生徒指導)
パーソナリティ認知に関する研究
- 吉中 淳 (発達心理学・生徒指導・進路指導)
青年の自己理解・社会認識の研究
- 吉崎 聡子 (教育心理学・特別活動)
動機づけに関する研究
- 新川 広樹 (臨床心理学・教育相談)
認知行動療法に関する研究



幼児教育 サブコース

入学後、幼児教育
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース（P.6を参照）

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース

■ 小学校コース 幼一種※
小一種

※卒業所要単位に追加履修することで、
取得できます。P.6を参照

幼児教育では、幼稚園などで幼児と関わるために必要になる理論的・実践的知識を学ぶなかで、幼児一人ひとりの心の状態に関心を寄せ、幼児期の特殊性を尊重して幼児と共に成長して行くことのできる、柔軟で知的好奇心豊かな学生の育成を目指しています。

幼児教育には、幼児心理、幼児教育の2分野があり、幼児に関連する様々な内容に関心のある分野からアプローチして学んでいくことができます。例えば、幼児心理分野では幼児と触れ合いながら、遊び・社会性・道徳性の発達、家族や友達との関係性の発達について研究することができます。幼児教育分野では、幼児の教育の理論や歴史、新しい幼児教育の展開の研究からアプローチできます。

なお、幼児を理解し適切な対応をとるための研究などもありますが、これらは両方の共通分野として考えられます。



入学志願者へのメッセージ

幼児教育は、小学校就学前の子どもたちを対象として、直接的で心を動かされる体験を通じた学びや人格の形成を通じてその後の人生全体の基盤を築いていく重要な教育です。

このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには以下のような取り組みを期待します。

- 各教科での学びに基づいて、人間らしさや人の育ちに関して考えること
- 幼児と実際に関わる機会をもつこと
- 幼児の発達や教育についてのニュースや本に関心をもち、深く考えること

主な授業科目

- 幼児教育学 ● 幼児教育学演習
- 幼児心理学 ● 幼児心理学演習
- 幼稚園教育課程論
- 幼稚園教育基礎論Ⅰ
- 幼稚園教育基礎論Ⅱ
- 保育内容指導法Ⅰ（健康）
- 保育内容指導法Ⅱ（人間関係）
- 保育内容指導法Ⅲ（環境・言葉）
- 保育内容指導法Ⅳ（表現）
- 保育内容指導法Ⅴ（表現）
- 幼稚園教育方法論
- 幼児理解と教育相談
- 幼児と人間関係
- 幼児と健康

教員紹介

- 武内 裕明（幼児教育）
幼児の保育・子ども観の研究
- 松本 恵美（幼児心理）
幼児の仲間関係の発達に関する研究



国語 サブコース

入学後、国語サブコースを選択できるコース・専修の学生コース（P.6を参照）

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち国語専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(国)
高一種(国)※

※高一種(国)の取得のためには、所定の科目の履修が必要です。

国語サブコースには、日本語学、日本文学、国語科教育を専門とするスタッフが在籍し、小学校や中・高の国語教員を目指す学生の指導にあっています。小学校教員にとって国語を指導する力は必須であり、中・高の学校現場では実践的で高度な専門知識が求められています。国語サブコース全体の和気あいあいとした雰囲気の中、私たちスタッフは、児童・生徒の主體的な学びをサポートできる学生を育てるべく、真剣に取り組んでいます。



入学志願者へのメッセージ

国語という教科は、全ての教育の基盤となる言語能力および言語そのものについて学ぶ教科です。このことを踏まえ、入学志願者の皆さんには以下のことへの取り組みを期待します。

- 日常における言語(話す・聞く、書く、読む)について、観察し考察すること。
- 幅広く本を読み、読書の習慣を身につけること。
- 言語としての「日本語」に関心を持ち、興味のある問題について調べること。
- 古典から現代に至るまでの、多様な言語文化に接し、理解を深めること。

主な授業科目

- 日本語学Ⅰ・Ⅱ
- 日本語学演習Ⅰ・Ⅲ
- 日本語学特論Ⅱ
- 日本文学Ⅰ・Ⅱ
- 日本文学講読Ⅰ・Ⅱ
- 日本文学史Ⅰ・Ⅱ
- 日本文学演習Ⅰ
- 漢文学Ⅰ
- 漢文学講読Ⅰ
- 国語科教育法
- 国語科授業論
- 国語科教材論
- 国語科教育方法論

教員紹介

- 市地 英 (日本語学)
日本語文字・表記史の研究
- 帆刈 基生 (日本文学)
日本近現代文学の研究
- 田中 拓郎 (国語科教育)
説明的文章指導の研究



社会 サブコース

入学後、社会
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース (P.6を参照)

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち社会専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(社)
高一種(地歴)※
高一種(公民)※

※卒業所要単位に
追加履修することで、取得できます。P.6を参照

社会サブコースでは各分野の専門的な学習を基礎とし、社会科の目標・内容・方法の理解、優れた教育実践の分析、模擬授業とその省察などを通じて授業づくりの実際について学んでいます。

2年次からは、社会科教育学と専門科学(歴史学、地理学、政治学、社会学)の演習で専門性を高め、4年次には卒業論文を作成します。Tuesday実習で、教科教育と教科専門を担当する教員が協働して授業づくりをサポートし、それぞれの側面から社会科教師に求められる専門的力を育めるように配慮しています。また、合同地域調査や卒業論文発表会などはサブコース全体で取り組んでおり、社会科を構成する多様な分野に触れ、総合的に考える機会も提供しています。



入学志願者へのメッセージ

社会科という教科は、社会を知り、社会に参加するための力を大きく含む教科です。

このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには、以下のことへの取り組みを期待します。

- 歴史や地理、公民で学んだ知識を活かしながら、関心のある社会事象について自ら追求すること。
- 身の回りや世界各地で起こっている社会事象について、多様な資料を用いて様々な視点から考察すること。
- 社会について学んだことを、わかりやすく表現できる力をつけること。



弘前市議会見学



地理学巡検(石川県手取川での震災(かずみでの)の観察)

主な授業科目

- 日本史 ● 西洋史
- 地理学概論 ● 人文地理学
- 自然地理学 ● 地理学演習
- 法学概論 ● 政治学概論
- 社会学 ● 経済学 ● 哲学
- 公民演習 ● 社会科教育法
- 社会科授業論
- 地理歴史科教育法
- 公民科教育法

教員紹介

- 大谷 伸治 (日本史)
日本近現代史・政治思想史の研究
- 小岩 直人 (自然地理学)
地形発達史・防災教育に関する研究
- 蒔田 純 (政治学)
政治過程と若者の政治参加に関する研究
- 高瀬 雅弘 (社会学)
現代社会の構造・文化の研究
- 小瑤 史朗 (社会科教育学)
社会科教育の研究
- 池田 泰弘 (社会科教育学)
社会科教育の研究



日本史資料解説



山形県鶴岡市での社会調査実習



フィールドワーク発表会(2年次)

数学 サブコース

入学後、数学サブコースを選択できるコース・専修の学生コース（P.6を参照）

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち数学専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(数)
高一種(数)※

※卒業所要単位に1科目程度追加履修する必要があります。P.6を参照



数学サブコースでは、数学を通して、小学校、中学校、高等学校の教師のあるべき姿について学びます。数学は、見えないものを見えるようにしてくれます。例えば、数や量、形が持っている普遍的な性質を代数学、幾何学、解析学及び確率論・統計学を通して学びます。

数学サブコースではこれまで学んできた数学を組み立て直し、豊かに数学することを身につけていきます。数学することの経験を踏まえ、算数・数学の授業を楽しく考えられる教師を目指します。



入学志願者へのメッセージ

数学という教科は、子どもたちとともに考える楽しさを共有できる教科です。入学志願者の皆さんには、以下のことへの取組みを期待します。

- 結果だけでなく、数学的に考える過程も大切にすること
- 条件や仮定を見直し、一般性や発展性を考えること
- 他者のアイデアにも眼向け、より良い解決を目指すこと

学生からのメッセージ

私は数学の先生になりたいと思い、このコースを選択しました。数学サブコースでは、将来教育現場で必要となる算数・数学教育の教材研究や授業方法について実践的に学ぶことができます。また、大学で学習する数学は、これまで学習してきた数学の根幹に関わるような、とても面白いものです。分からないことがあっても、先生が親身に丁寧に教えてくださったり、仲間と一緒に考えたりして解決することができます。皆さんも、数学サブコースで数学の楽しさや面白さを感じてみてはいかがでしょうか。

(令和3年度入学) 小 浅 拓 巳

主な授業科目

- 論理・集合・写像
- 線形代数概論 ● 微分積分概論
- 情報数学 ● 数論入門
- 変換と幾何学 ● 確率・統計入門
- 群論入門 ● 位相数学入門
- 偏微分・重積分 ● 統計学
- 代数学Ⅰ・Ⅱ ● 幾何学Ⅰ・Ⅱ
- 解析学Ⅰ・Ⅱ ● 応用数学Ⅰ・Ⅱ
- 数学科教育法 ● 数学科授業論
- 数学科教材論 ● 数学教育方法論

教員紹介

- 澤原 雅知 (代数学)
代数幾何学
- 山本 稔 (幾何学)
位相幾何学
- 吉川 和宏 (確率論・統計学)
確率論
- 田中 義久 (数学教育)
算数・数学科の教材研究



理科 サブコース

入学後、理科サブコースを選択できるコース・専修の学生コース(P.6を参照)

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち理科専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(理)
高一種(理)

現在、社会における科学技術の重要性はますます高まっており、自然科学の知識を子どもたちあるいは社会に正しく伝えることのできる人材が求められています。理科サブコースでは、物理学・化学・生物学・地学・理科教育についてそれぞれ専門のスタッフが在籍することを特色としており、自然科学を幅広く基礎から学ぶことができます。高等学校で履修しなかった科目についても、大学でしっかり勉強すればカバーすることは十分可能です。さらにさまざまな実験や野外実習を通して実践力を身につけ、卒業研究では各分野に分かれてより専門的な学習や研究を行うことができます。本サブコースで身につける自然科学の体系的な知識や考え方は、「子どもたちに理科の楽しさを伝えられる教員」や「科学的な知識をもって社会に貢献できる人間」をめざす上で大きな力になるはずです。



基礎地学実験(膝ヶ沢町での地層観察)

入学志願者へのメッセージ

理科という教科は、児童・生徒に自然科学の知識と方法を正しく伝え、考えさせる教科です。

このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには、以下のことへの取り組みを期待します。

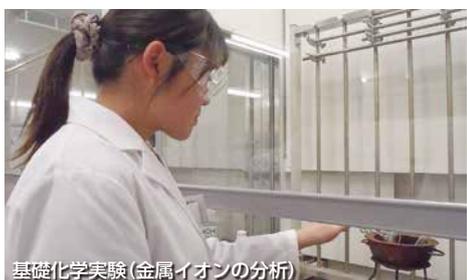
- 理科や数学の基礎的理解だけでなく実験や計算を通して深い理解を行い、それらを図やグラフを含めて表現、説明できるようにしておくこと。
- 自分が興味を持った科学的対象について、積極的に文献を用いて調べたり、話し合ったり、実験に取り組んでみたりすること。

主な授業科目

- 理科教育法Ⅰ・Ⅱ ● 理科教材方法論Ⅰ・Ⅱ
- 基礎物理学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎物理学実験
- 基礎化学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎化学実験
- 基礎生物学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎生物学実験
- 基礎地学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎地学実験
- 物理学概論Ⅰ・Ⅱ ● 化学概論Ⅰ・Ⅱ
- 生物学概論Ⅰ・Ⅱ ● 地学概論Ⅰ・Ⅱ
- 物理学実験法 ● 化学実験法Ⅰ・Ⅱ
- 生物学実験法Ⅰ・Ⅱ ● 地学実験法Ⅰ・Ⅱ
- 野外実習Ⅰ～Ⅲ ● 地質巡検Ⅰ・Ⅱ

教員紹介

- 佐藤 松夫 (物理学)
理論物理、素粒子物理学、特に超弦理論
- 長南 幸安 (化学)
科学(化学)教材の開発、エネルギー教育
- 島田 透 (化学)
分光学、非破壊分析
- 岩井 草介 (生物学)
微生物学、細胞内共生
- 佐藤 崇之 (理科教育学(生物学))
理科教育の理論及び教材開発、環境教育



基礎化学実験(金属イオンの分析)



基礎生物学実験(十二湖での実習)



基礎物理学実験(比熱の測定)

音楽 サブコース

入学後、音楽
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース (P.6を参照)

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち音楽専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(音)
高一種(音)

森羅万象の不思議が、あるとき、人間の精神、そして身体と結びつき、音楽が生まれました。自然環境から生まれた靈感が、人間の内側にイメージを生み、人間はイメージを具現するための動き(技術)を必要としました。このようなバランスの取れた営みを、嘗てギリシア人は、mimesis(模倣)と名づけたのです。音楽は、頭脳、精神、身体の幸福な共生によって成立します。故に音楽は、知性、理性の根源となる感性を育む、人間にとってとても大切な営みです。その営みを声楽、ピアノ、音楽学、音楽教育学を専門とする教員が指導します。音楽を聴く、音楽を演奏する、音楽をことばに置き換え思考する、などの包括的活動を通して、音楽の総合力を高め、教育実践の場に必要の人材を養成します。



入学志願者へのメッセージ

音楽という教科は、子どもたちに、音を聴くこと、創ることの楽しさを伝える教科です。このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには、以下のことへの取り組みを期待します。

- 実際に自分でさまざまな音を聴き、自らの音を創ってみて、その楽しさ、難しさを実感すること。
- 音を聴き、創ることの基礎となる世界中のさまざまな音楽についての情報を得ること。
- 音楽と、他の芸術、科学、環境などがどのような関係があるのかを考えること。



主な授業科目

- 音楽科教育法 I～IV
- ソルフェージュ IA～III D
- 歌唱(合唱および日本の伝統的な歌唱を含む)
- 独唱 I・II・III A～III D
- 合奏および和楽器 ● 音楽史
- 独奏および伴奏 ● 独奏 I・II
- 独奏(管・弦・打楽器) III A～III D
- 独奏(ピアノ) IV A～IV D
- 指揮法 ● 音楽理論 I・II
- 作曲法 I・II ● 音楽学 I～IV



教員紹介

- 杉原かおり (声楽)
声楽演奏法研究：歌曲・イタリアオペラ・宗教曲
- 今田 匡彦 (音楽教育学)
サウンドスケープ研究；舞踊・身体論；哲学
- 朝山奈津子 (音楽学)
西洋音楽史
作曲家作品研究
- 清水 稔 (音楽教育学・作曲)
哲学・吹奏楽指導・作曲
- 小田 直弥 (ピアノ)
ピアノ演奏法研究：独奏・アンサンブル、合唱指導



美術 サブコース

入学後、美術
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース (P.6を参照)

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち美術専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(美)
高一種(美)※

※卒業所要単位に1～2科目程度追加履修する必要があります。P.6を参照

絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育の分野において制作や理論研究を通して、芸術活動に親しみながら、感性豊かな人間の育成をめざしています。また、各学年ごとに設けられている各種の教育実習での経験を通して、小学校(図画工作)、中学校・高校(美術)の授業を行う上で必要な幅広い知識と実践能力を養います。

4年次には卒業研究で論文や作品を提出し、その成果を卒業制作展として大学会館や学外のギャラリー・美術館で発表しています。

卒業生には、小学校や中学校・高等学校美術の教員をはじめ、大学院進学者、企業におけるデザイナーや企画担当者、アニメーター、漫画家、美術館学芸員、大学教員などとして活躍されている方がいます。



入学志願者へのメッセージ

美術の教科は、表現と鑑賞の活動を通して、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育みます。入学志願者の皆さんには、以下のことへの取り組みを期待します。

- 日頃からスケッチなどに親しむこと。
- 表したいことを裏付けて、絵画や彫刻で表現したり、生活や社会の中にあるデザインや工芸などに興味をもつこと。
- 画集を見たり、地域の展覧会や美術館などに行って美術作品を鑑賞する機会を積極的にもつこと。

主な授業科目

- 素描 ● 絵画基礎 ● 絵画Ⅰ・Ⅱ
- 版画 ● 彫刻基礎 ● 彫刻Ⅰ・Ⅱ
- デザイン基礎 ● デザインⅠ・Ⅱ
- 美術史基礎(日本美術史)
- 美術史Ⅰ(西洋美術史)
- 美術史Ⅱ(近・現代美術史)
- 工芸基礎 ● 工芸史
- 美術科教育法
- 美術科教育法演習Ⅰ・Ⅱ
- 美術科授業研究

教員紹介

- 佐藤 光輝(デザイン)
視覚デザイン、写真、版画、素描
- 出 佳奈子(美術史)
美術史、美術論、美術鑑賞論
- 塚本 悦雄(彫刻)
塑像、石彫、木彫、テラコッタ
- 富田 晃(美術科教育)
美術教育の再創造、教材開発
- 佐藤絵里子(美術科教育)
美術教育学、美術科教育の理論と実践



保健体育 サブコース

入学後、保健体育
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース（P.6を参照）

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち保健体育専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(保体)
高一種(保体)

保健体育サブコースでは児童・生徒の身体の発育や運動機能の発達、運動生理学、体育心理学などの科学的知識と、教材となるスポーツの実技を授業の2本の軸として、より良い指導法を身につけた実践力を持った教員となれるように後押しをしています。



入学志願者へのメッセージ

保健体育は、生徒に運動の楽しさと、心と身体の健康の大切さを伝える教科です。

このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには以下のことへの取り組みを期待します。

- 様々な運動を表現できる技能と体力の向上に主体的に取り組むこと。
- 運動の基礎となる体育理論の学習に取り組むこと。
- 体の仕組みに関心を持ち、心と身体の健康についての学習に取り組むこと。

主な授業科目

- 基本実技(陸上・器械・水泳・バドミントン・バスケットボール・柔道・スキー)
- 応用実技
- 体育学
- スポーツ運動学
- 衛生学・公衆衛生学
- 生理学・運動生理学
- 学校保健
- 保健体育実験
- 体育科教育法
- 体育科教育方法論

教員紹介

- 上野 秀人 (保健体育科教育)
球技の指導法及び健康教育
- 杉本和那美 (保健体育科教育)
運動学習とパフォーマンス分析
- 高橋 俊哉 (学校保健)
授業や部活動の事故について
- 益川 満治 (体育学)
ボールゲームの心理(指導法の開発)



技術 サブコース

入学後、技術
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース（P.6を参照）

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち技術専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(技)
高一種(工業)※

※卒業所要単位に、4科目程度追加履修する必要があります。P.6を参照

技術サブコースは、創造・工夫・発明する能力の伸長など、子どもたちの健全な発達に大きく貢献しています。しかし、普通教育の教科として技術教育を中心的に扱っているのは中学校技術・家庭科の「技術分野」のみです。技術専修では子どもたちに技術リテラシーを涵養する技術科教員の養成を目指しています。



入学志願者へのメッセージ

技術という教科は、よりよい生活と持続可能な社会を構築するための問題解決力や創造力を、「ものづくり」を通して育む教科です。

このことを踏まえて、入学志願者の皆さんには、以下のことへの取り組みを期待します。

- 自分で、ものを作ってみて、ものづくりの楽しさを実感してみましょう。
- ものづくりの基礎となる理科や数学の学習に取り組みましょう。
- 身の回りで活用されている技術に興味を持ち、その仕組みについて考究してみましょう。

主な授業科目

- 木材加工技術基礎
- 木材加工技術 A・B
- 木材加工実習 I・II ● 製図
- 金属加工技術基礎
- 金属加工技術 A・B
- 金属加工実習 I・II ● 機械技術基礎
- 機械技術 A・B ● 機械実習 I・II
- 電気技術基礎 ● 電気技術 A・B
- 電気実習 I・II ● 栽培技術基礎
- 栽培技術 A・B ● 栽培実習 I・II
- 情報技術基礎 ● 情報技術 A・B
- 情報技術実習 I・II ● 職業指導

教員紹介

- 上之園 哲也 (技術科教育)
生徒の認知的実態に基づくカリキュラム開発
- 勝川 健三 (栽培)
学校園における有用・地域植物の教材化
球根花卉の生理生態解明
- 櫻田 安志 (電気)
物理・技術教育教材の開発
- 廣瀬 孝 (木材加工)
地域資源等を活用した活性炭に関する研究



家庭科 サブコース

入学後、家庭科
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース（P.6を参照）

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち家庭科専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(家)
高一種(家)

私たちの生活は刻々と変化し続けています。科学技術の発展とともに次々と登場する新規の事象によって、生活は便利になりますが、一方で、新たな生活課題も生じます。

生活を営む上で必要な様々な知識を備え、より良い生活を送りたいものです。次世代を担う子どもたちの生活の基盤形成の一助になれる教員の養成を目指しています。



入学志願者へのメッセージ

家庭科は衣食住、家庭経営、保育等、広い分野を含む私たちの生活を様々な視点からみつけ、意思決定できる生活者を育成する教科です。

入学志願者の皆さんに、以下のような取り組みを期待します。

- 日常生活の種々の場面で、いろいろな事象に興味・関心をもつこと。
- 学校生活・私生活において、様々な物事に積極的、能動的に取り組むこと。
- 文系から理系まで幅広い分野の基礎的な力をつけること。

主な授業科目

- 家庭経営学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 食物学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 被服学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 住居学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 保育学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 食物学実験実習Ⅰ・Ⅱ
- 被服学実験実習Ⅰ・Ⅱ
- 家庭経営学演習
- 住居学演習 ● 保育学演習

教員紹介

- 李 秀眞 (家庭経営学)
家族のライフステージと生活課題
家庭内の資源配分と家族関係
- 小野 恭子 (家庭科教育)
家庭科教育における教材・授業開発
持続可能な生活に関する研究
- 加賀 恵子 (家庭科教育)
社会資源との協働による市民性育成
小中高における消費者教育
- 谷本 憂太郎 (食物学)
健康的な食生活の追究と食育への応用
多糖の機能評価と環境分野への応用



英語 サブコース

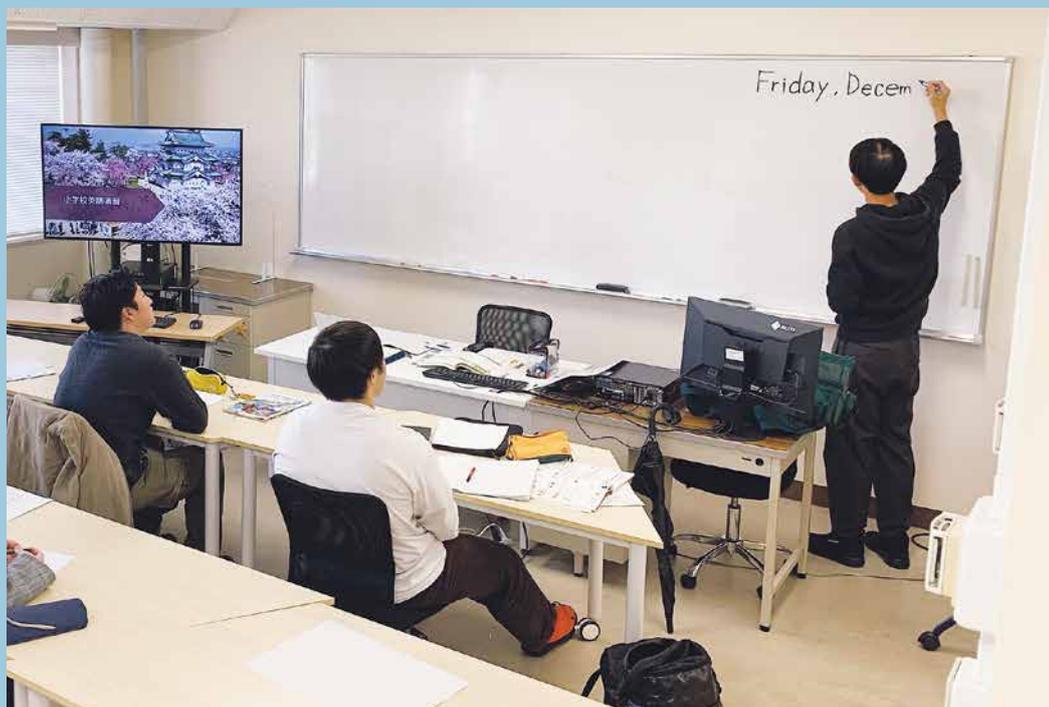
入学後、英語
サブコースを選択できる
コース・専修の学生
コース(P.6を参照)

卒業所要単位で
取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻 小学校コース
または中学校コースのうち英語専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(英)
高一種(英)

英語学、英米文学、英語コミュニケーション、英語教育学、比較文化等の授業を通して、英語および英語教育学の知識・理解をより深め、国際理解も兼ね備えた21世紀にふさわしいオールラウンドな英語教師を育成することを目指しています。中学校・高等学校における英語教育のみならず、早期外国語教育に関する理解も深め、高等教育に学ぶ者として一貫性のある視点から言語教育のあり方を考えます。学びを共有し合う学生・教員間の協働、学年を追って展開される多様な教育実習などを通して、優れた英語指導者になるために必要な専門的資質・能力や実践的指導力を育み成長することができます。在学中、米国、カナダ、ニュージーランドの協定校での短期留学(3~4週間)又は長期留学(6~10ヶ月)を奨励しています。



入学志願者へのメッセージ

子どもたちに、世界中の様々な人々とコミュニケーションすることのよさを伝え、その能力を育て、伸ばしてあげることが英語教師の仕事です。

そのため、入学志願者のみなさんには、以下の取り組みを期待します。

- 英語の教師が児童・生徒のロールモデル(お手本となる人物)でなければなりません。児童・生徒が「先生みたいに英語が使えるようになりたい」と思ってもらえる英語力をつけるため、日々の英語の授業には本気で取り組んでください。
- 文法や語法などをただ丸暗記するのではなく、「なぜこういうルールになるのだろう?」「こういう場合はどうなるのだろう?」のように、好奇心・探究心を持って主体的に考察・学習してください。
- 英語で小説(原書)を読んだり、映画を英語で視聴するなど、教材ではない生の英語に直に触れ、英語の世界を楽しむ習慣をつけてください。

主な授業科目

- 英文法Ⅰ・Ⅱ ● 英語学演習Ⅰ・Ⅱ
- 英語学講読Ⅰ・Ⅱ
- 英語学特殊講義Ⅰ~Ⅳ ● 英語音声学
- 応用言語学 ● 英米文学史Ⅰ~Ⅳ
- 英米文学講読Ⅰ・Ⅱ
- 英米文学演習Ⅰ・Ⅱ
- 英米文学特殊講義Ⅰ~Ⅳ
- コミュニケーションⅠA・ⅠB
- コミュニケーションⅡA・ⅡB
- コミュニケーションⅢA・ⅢB
- 英語作文Ⅰ~Ⅲ ● 比較文化

教員紹介

- 佐藤 剛 (英語教育学)
英語教授法、語彙習得
- 土屋 陽子 (英米文学)
19世紀-20世紀 アメリカ文学・文化
- 齋藤 章吾 (英語学)
英語の構文や発音に関する研究



実践力の強化 長期継続型実習

教育現場で気づく自らの成長と課題

弘前大学教育学部は、これまで教育実習の充実・体系化を図ってきました。それは、実際に教育現場を体験する中で、これまで大学の講義等で学んできた知識や技能等を試し、自分の成長と課題を知り、さらなる成長に向けて努力して欲しいと思っているからです。

1年次から教育現場で学ぶ

教育実習は、1年次から始まります。「いきなり子どもたちを前にして授業をするのですか?」と心配になる人もいるかもしれませんが、実際に教壇に立って授業を行うのは3年次になってからです。それまでは、大学の講義等を受けながら、1年次の「教職入門」や2年次の「学校生活体験実習」で、授業を見学したり、子どもたちと一日を過ごしたりしながら、子どもたちの様子や先生の仕事に対する理解を深め、授業のイメージを徐々に作っていきます。また、「事前事後指導」では、実習先の附属学校園の先生方から教科等の具体的な指導のあり方について話を聞く機会もあります。

長期継続型実習で子どもの成長を深く理解

先生の仕事は、一人ひとりの子どもたちの成長を築くことです。この成長は、一般的に行われている短期間集中の教育実習ではなかなか見えにくいものです。そこで、弘前大学教育学部では、3年次「Tuesday実習」・4年次「学校サポーター実習」を、それぞれ従来行っていた2週間集中の「集中実習」「研究教育実習」の前後に導入しました。

学生はおよそ9ヶ月にわたって定期的に学校現場へ通う中で、子ども一人ひとりの成長を大切にしたい教員を目指します。

他校種・学校外教育との関わりを視野に

現在、幼小中連携、学校教育と社会教育との融合など、他校種・学校外教育との連携が強く求められています。

4年次の「卒業要件外(副免)実習」では、自分の主とする校種以外の学校で教育実習を経験することができます。実習を通じて、子どもの成長や教育活動に対する幅広い見方・考え方を学んでいきます。

より円滑な教職生活のスタートに向けて

教育実習は、これまで学んだことを試し、自らの成長と課題に気づくための大切な契機です。特に3年次の「事後指導」で明らかとなった自らの到達点と課題は、4年次の「教職実践演習」において補充・深化・統合させていくことが期待されます。4年次の「研究教育実習」「学校サポーター実習」は、この「教職実践演習」のフィールド研究としての意味を持っており、それにより、実践的指導力の向上を図り、教職生活をより円滑にスタートすることを目指しています。

1年次

教職入門

介護等体験実習

地域コラボ
レーション
演習 I・II

2年次

学校生活体験実習

3年次

事前指導

集中実習

Tuesday実習

事後指導

4年次

研究教育実習

学校サポーター
実習卒業要件外
(副免)実習

教職実践演習

実線枠=必修 点線枠=選択



教わる側から 教える側へ

1～2年次

教職入門

前半2日は大学教員の講義と現職教員の講話です。後半2日は公立の小学校と中学校とに授業参観に行きます。あらためて「教える立場」から学校現場を経験し、教員への適性や希望校種について考えます。

介護等体験実習

教育の根本にある「ケア」について、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間の実習を通じて学びます。

学校生活体験実習

附属学校園において5日間終日過ごす中で、授業だけでなく、学級活動や学校行事などの観察や参加を行います。また、教育実習中の3年次の先輩たちの授業も見学し、来年度の自分をイメージする機会でもあります。



子どもとともに

3年次

集中実習

おもに大学の夏休み期間中に2週間集中的に行われる実習です。ここでは、実際に教壇に立って授業を行います。

Tuesday実習

集中実習を挟む形で、4月～12月にかけて火曜日の午後、定期的に附属学校で行われる実習です。前期は、数ヶ月後に行われる集中実習で児童生徒を活かした授業ができるよう、授業観察に主眼がおかれています。後期では、集中実習における課題に再度チャレンジする機会にもなっています。

学校の一員としての 自覚の芽生え

4年次

研究教育実習

4年次の「研究教育実習」と「学校サポーター実習」は、それぞれ3年次の「集中実習」「Tuesday実習」の発展版です。そのうち研究教育実習は、公立学校において2週間集中で授業を行います。

学校サポーター実習

近隣の公立学校で、10ヶ月にわたって週一回終日、学校スタッフの一員として、授業や学級活動等の手伝い等をする中で、教員としての実践的な指導力を高めていきます。

教職実践演習

3年次の「事後指導」で明らかになった到達点と課題を踏まえて、教員として必要最小限の知識・技能の定着を目的とした演習主体の授業です。



実践力の強化

地域協働型 教員養成プログラム

本学と県および各地域の教育委員会をはじめとする機関が連携するシステムを基に、地域における諸種の体験や実践、本学教員が専門性を活かし各地域で取り組んでいるさまざまな地域連携を活用することで、より高い人間性と柔軟な思考力を持つ教員養成を目指します。

キャリアサポート実習Ⅰ・Ⅱ



高校生等のキャリア形成を支援する青森県教育委員会主催の「大学生とカタル！キャリア形成サポート事業」のワークショップ「キャリアサポ」（高校企画）、「Jr.キャリアサポ」（中学校企画）に参加することによって、対人関係スキルを向上させます。

○コミュニケーション

- ・心のシャッターを開けるスキル
- ・聴き上手になるスキル
- ・気持ちを伝えるスキル

○コーチング

- ・聴いて受け止めるスキル
- ・発問して引き出すスキル

○ファシリテーション

- ・場をつくり、つなげるスキル
- ・話し合いを活発化するスキル

○ワークショップ

中学校・高校の現場で実践します。将来について語り合うなど、楽しく和やかな雰囲気を進めることができることを目指します。

○ワークショップ実施校

高等学校10校 中学校6校

○県内他の大学生との交流

(参加大学…県内5大学)

ワークショップ参加実人数 約200名

ワークショップ参加延人数 約400名

(令和6年度実績)

新しい自分



「やってみようかな…」と軽い気持ちで始めたキャリアサポのことを気がつけば常に考えているくらい熱中していました。私は今年度、ワークショップの運営に携わらせていただきました。運営では、学校の生徒の性格や進路実績に合わせて、一から企画を考えることの

難しさを実感しました。私も何も分からないまま始めましたが、経験豊富な先輩方が優しく丁寧に教えてくださり、最後まで楽しく活動することができました。企画当日、自分たちが考えてきた企画を高校生の前で実施した時の達成感は忘れられません。キャリアサポの活動を通して自分の意見を言うことが怖くなくなり、人と話すことの楽しさを学ぶことができました。また、他大学の学生との交流もあるので、学校や学年を問わず心の支えとなってくれる素敵な仲間に出会えます。キャリアサポには体験しないと分からないたくさんの魅力があります。新しい挑戦をしたい。中学生や高校生と話してみたい。少しでも興味があったらぜひ挑戦してほしいです。

教育学部学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻小学校コース 奈良 京香



大学生とカタル！キャリア形成サポート事業（以下キャリアサポ）の活動を通して感じたことは「人と話し合うことの楽しさ」です。ワークショップを作る過程で先輩方と話し合ったり、もちろんワークショップ当日に高校生と話し合ったり、キャリアサポの活動の中

では「話し合う」ということを多く経験したと思います。その中で、人に自分の意見を話すことは自分の自信につながることに気づきました。人に意見を話すことは難しいことだと思えます。ですが、キャリアサポの活動を通して人に自分の意見を話すことは怖いことではないことに気づくことができました。人と話すのが好きな人はもちろん、人と話すことに苦手意識がある人もキャリアサポの活動に参加して自分の成長を実感し、自信にしてほしいと思います。また、キャリアサポではかけがえのない素敵な仲間に出会うことができます。キャリアサポの活動でお会いできるのを楽しみにしています！

教育学部学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻小学校コース 太田 ひより

地域コラボレーション演習Ⅰ・Ⅱ



平成25年度から実施している地域協働型教員養成プログラムで、弘前市や、近隣市町村の教育委員会の関連行事や公民館における教育実践活動、または本学部教員と地域との協働プロジェクト等に積極的に参加し、学校教員として必要な高い人間性と柔軟な思考力を養成します。

地域住民との交流

僻地体験や近隣地域における学習ボランティア、公民館活動や子ども会支援等の教育活動への参加、地域社会とかかわりの深い実習の充実を図るなど、教育的観点から大学と地域住民との交流を盛んに行います。

附属学校園

実りある教育実習に向けて

教師としての専門性育成と実践力向上を図るため、教育学部は附属4校園と連携して、未来に伸びゆく子どもたちと共に学ぶ、充実した教育環境を提供しています。

附属幼稚園

附属幼稚園では、3歳から5歳までの園児をお預かりし、「幼児に適切な環境を与えて、その心身の調和的発達を助長すること」を目的とし、日々教育活動を行っています。

教育実習では、それぞれの園児の発達段階に即した教育の仕方を自由な遊びや一斉活動の中で実際に体験し、理論と実践の統合を図る機会となるでしょう。子どもたちと一緒に生活する中で、元気いっぱい遊んでいる姿や、子どもなりに考え一生懸命取り組んでいる姿に素直に驚き、また、子どもたちの輝きから元気をもらい、子どもたちの成長した姿に喜びを感じることができます。



附属小学校

附属小学校では、「強く 明るく 豊かに」を教育目標に掲げ、全教職員による協働態勢のもとでその具現化を図るとともに、児童一人一人の理解を深め、温かな心の結びつきを基調とした教育活動を行っています。

教育実習においては、教育学部との連携を図りながら、実習生が児童との触れ合いを通して教職に対する理解を深め、実践を通して専門性を身につけてほしいという願いをもって指導に臨んでいます。

実習に際しては、児童の前では一人の教師であるという自覚を持ち、誠実な態度で児童と向き合ってください。今の自分に出来る精一杯の力を尽くすことで、教職を目指す上での道標が見えてくることでしょう。



附属中学校

附属中学校では、「自主 創造 気品」を教育目標とし、知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、日々の教育活動を行っています。その中で「生きる力」である「根っこ精神」を育むための指導や支援を行っています。

教育実習では、実習生全員が教師としての高い資質と適性を身につけて教壇に立ってほしいという強い願いから、本校教員が、丁寧に学生の指導にあたっています。本校での実習経験は、将来は必ず教師になろうという強い思いを抱かせる、大学生活の忘れない一場面になるものと確信しています。

附属特別支援学校

附属特別支援学校では、知的に障害のある児童生徒一人一人の実態や個性に応じて、きめ細かな教育的支援を行っています。

教育実習は、児童生徒との直接的な関わりを通して個々の障害の状態や特性を理解するとともに、個に応じた指導や支援の在り方を実際に体験することができる絶好の機会です。

実習にあたっては、探究心と創造性をもって臨んでください。新たな気づきや課題を発見できる充実した実習になることでしょう。実習を通じて、学生のみなさんが自分にとって大切な何かを発見できることを期待しています。



附属教育実践総合センター

学生の実習や教員の教育実践を支援

学校や社会教育施設などと連携し、実践的指導力を持つ教員の養成を目指すとともに、地域社会の教育活動の支援を行っています。

教育実習部門

1年次から4年次まで、学年進行に合わせた教育実習関連の科目を担当する部門です。学年間の切れ目ない教育現場との関わりを特色として行っている実習は、弘前大学教育学部の大きな特徴です。附属学校園や一般公立学校で行われる一連の実習では、大学で学んだ事柄を試し、実習で明らかになった課題の解決のために大学での学習を続ける、という過程を通じて実践力を養います。特に一般公立学校で4年次に行われるサポーター実習は、現場の先生方からも好評です。



教職実践演習部門

教員養成の導入と総仕上げに関する授業科目を担当する部門です。1年次の「教職入門」では、あらためて「教える立場」から教員の仕事について学び、自分はどの校種の教員になりたいのだろうか、これから何を学んでいけばよいのだろうか等を、講義や小・中学校での授業観察を通して考えます。4年次の「教職実践演習」は、これまでの大学での学習や教育実習の経験を踏まえて、教員になるために何が課題なのかを考え、不足している知識や技能を補っていくものです。またこの「教職実践演習」の前後に、自らの目指す教員像について考える「教職キャリア基礎演習」、キャリア教育や通常学級における特別支援教育など現代的な教育課題について学ぶ「教職キャリア発展演習」があります。この二つの科目は、弘前大学オリジナルの科目で、教員を目指す学生が3年次教育実習から卒業まで間断なく、実践的な内容について学び考える機会となっています。

学修支援部門

教育実習をはじめとする大学の授業に不安を持つ学生や、障害などで勉強を続けるのが難しくなっている学生を支援するための部門です。教育相談等に専門的な知識や経験を持った教員が、学生の所属するゼミの教員などと連携して対応する仕組みを作っています。教育実習に不安を感じている学生には、事前に、面接による相談を行っています。

附属教員養成学研究開発センター

教員養成学の新たな展開をめざして

「教員養成学」とは、大学における教員養成を体系的・組織的に行うため、「どのような教員養成カリキュラム」を「どのような体制」のもとで行っていくのかについて実践と研究の両面で考えていく学問です。

平成15年10月の発足以来、教育実習関連科目の体系化や教職実践演習の開発などに取り組んできました。また、教員養成カリキュラムのもとで、どのような教員が育っているのかについて検証し、その成果を生かして、よりよい教員養成のあり方を模索しています。

教員養成カリキュラムの効果検証や「総合的な学習（探究）の時間」の指導法などに関する研究を行い、その成果を学内外に発表してきました。令和4年度からJICA（国際協力機構）の課題別研修「教員養成課程のアップグレード～教師が変われば未来が変わる」を受託し、令和6年度は開発途上国9カ国11名の方々をお迎えし、国際貢献・国際交流を通じた発信も行っています。



附属次世代ウェルビーイング研究センター



Next Generation Well-Being



次世代ウェルビーイング研究センター

2023年7月、教育学部に次世代ウェルビーイング研究センター(センター長：今田匡彦)が設立されました。この新しいセンターに託されたのは、超人口減少地域の、子ども、教師、社会のウェルビーイングを実現することです。マニュアルと匿名性を基盤とする〈システム信頼〉を修正することで、人々の自発性を基盤とする〈人格的信頼〉と〈小さな対話的理性〉を構築するため、教育課題調査部門、データベース・アーカイヴ部門、教育プログラム開発部門、地域連携部門、多文化共生部門が、さまざまな地域課題に取り組んでいます。これまでにセンターでは、深浦市の全中学生、及び本学教育学部附属中学校の生徒を加えた「中学生の生活と意識調査」、〈子ども・若者ワンストップ相談会〉等を実施するとともに、International Web Journal: *Research Studies in Next Generation Well-Being* (ISSN: 2759-503X)の刊行、哲学者朱喜哲氏を迎えてのシンポジウム(2025年2月1日)、Kane & Kotfeによるセミナー(2025年2月13日)開催も予定しています。

特別支援教育センター

障害のある子どもたちへの教育支援のあり方を知り、実践する役割を担う

本センターは、平成16年度に主として障害のある子どもの保護者や教員などの相談に応じることを目的として設置された特別支援教育相談室を母体にして、これに教員等の研修機能を加えて平成17年度に設けられました。センターは、学校教育講座(特別支援教育)と附属特別支援学校が連携して運営しており、教育相談は、主に特別支援教育分野の教員、附属特別支援学校の教員が相談員を担当しています。また、相談補助員として加わっている学生にとって障害のある子どもたちと関わる大切な機会になるとともに、教員としての力量形成に役立っています。



国際音楽センター

国際的視野から音楽文化の振興を

平成17年5月に発足した国際音楽センターは、教育学部附属施設として音楽に関する教育および実践研究を行い、弘前大学並びに教育学部の進展と地域における音楽文化の振興に資することを目的とし、(1)外国の音楽家・研究者との交流、(2)音楽教育の振興、(3)地域の音楽に関する調査および情報の収集、(4)その他音楽に関すること、の業務を行っています。

本センターは、今田匡彦(代表・音楽教育および作曲)、杉原かおり(声楽)、小田直弥(ピアノ)の3名の教員を中心に、協力教員、地域の演奏家、国内外の演奏家・研究者、学生、卒業生の協力を得ながら、さまざまな事業展開を行っています。



日本音楽教育学会との共催によるシンポジウム

国際交流

学生の留学について

弘前大学では、現在、世界24の国・地域62の大学と大学間協定を結んでいます(令和6年5月現在)。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により留学生の派遣は中止していましたが、少しずつ留学する学生も出てきています。また、海外渡航が難しい学生のために、オンライン留学等新しい国際交流も行っています。なお、令和5年度は13カ国・地域へ111名の学生を送り出す一方、24カ国・地域から204名の留学生を迎え入れており、国際連携本部を中心として積極的な国際交流に取り組んでいます。

弘前大学国際連携本部/サポートオフィス 充実した海外留学を実現するためのサポート

国際連携本部 サポートオフィスは、総合教育棟2階南側(English Lounge 向かい)にあり、本学における留学生交流を推進するとともに、協定校を中心とした教員の研究交流や職員の実務研修、地域の国際交流の支援をしています。

海外の大学等に留学を希望する本学生に対し、協定校のパンフレットおよび留学情報誌、帰国生による留学体験記を揃え、留学に関する情報提供のほか、留学相談を行っています。



English Lounge を活用しよう!

English Lounge (EL) は、学生が自律した言語学習・多文化交流を行う施設です。教員は学生が自らの意思と判断で実用的な英語コミュニケーション能力を身につけるサポートをします。各国の留学生とリラックスした雰囲気の中で、『学内留学』を体験してみませんか。多様なセミナーを自由時間に受講し、英語の図書や学習教材を積極的に活用し、語学力・コミュニケーション力を伸ばしてください。また現在、高大連携事業の一環として、オンラインセミナーの一部、及び所属教員が担当する教養教育科目を県内協定高等学校へオンラインで提供しています。大学の授業を進学前に楽しく体験してみませんか。



教育推進機構 教養教育開発実践センター

English Lounge

※利用時間はホームページをご覧ください。 <https://home.hirosaki-u.ac.jp/salc/>

弘前大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻

【教職大学院】

○大学院って何でしょうか？

簡単に言うと、大学を卒業した人が学部で学んだことを基礎に、さらに専門的な学びや研究を重ね、より深く勉強をするところです。本学の教育学研究科は、「教職大学院」としての機能を有しており、青森県及び日本全体が直面している教育課題の解決を目指した教育実践を創造できる高度な専門職としての教員の養成を目指す課程です。入学の要件として、大学などで一種教員免許状を取得していることが必要となります。



○どんなコースがあるのでしょか？

教育学研究科教職実践専攻【教職大学院】には4つのコースがあります。

1つは、現職の教員として既に青森県の教員の職についている方が学ぶ「ミドルリーダー養成コース」です。他の3つのコースは、学部を卒業後、進学することができるコースで、「学校教育実践コース」「教科領域実践コース」「特別支援教育実践コース」があります。

「学校教育実践コース」では、学校教育・教育方法・生徒指導・生徒理解及び教科外教育について、「教科領域実践コース」では、教科及び領域に関する教育について、「特別支援教育実践コース」では、特別支援教育及びインクルーシブ教育システムについて、それぞれのコースの特色を生かして、「確かな実践力」を持つ若手教員の養成を目指しています。

○具体的にどんなことを学ぶのでしょうか？

カリキュラムについては、図1をご覧ください。カリキュラムは、大きく3つに分類することができます。1つ目は、大学内で「理論的なこと」を学びます。図の基礎科目・独自テーマ科目・発展科目がそれにあたります。

図1 教育学研究科教職実践専攻 カリキュラム体系



2つ目は、教育現場等での「授業実践などの教育実習」で、図の実習科目がそれにあたります（詳細は次項）。そして、3つ目は、理論的な学びと、実習での実践的な学びをつなぐ教育実践研究科目です。理論的な学びと、実習での学びは、『往還』するように同時進行で学び、その学びを『融合』する科目でもあります。

また、授業は理論的な視点と、実践的な視点の両面から学ぶことができるように、チーム・ティーチングで行います。授業は講義形式もありますが、演習が中心となります。

○大学院の教育実習って、どのような実習ですか？

(1) 実習の意義・ねらい

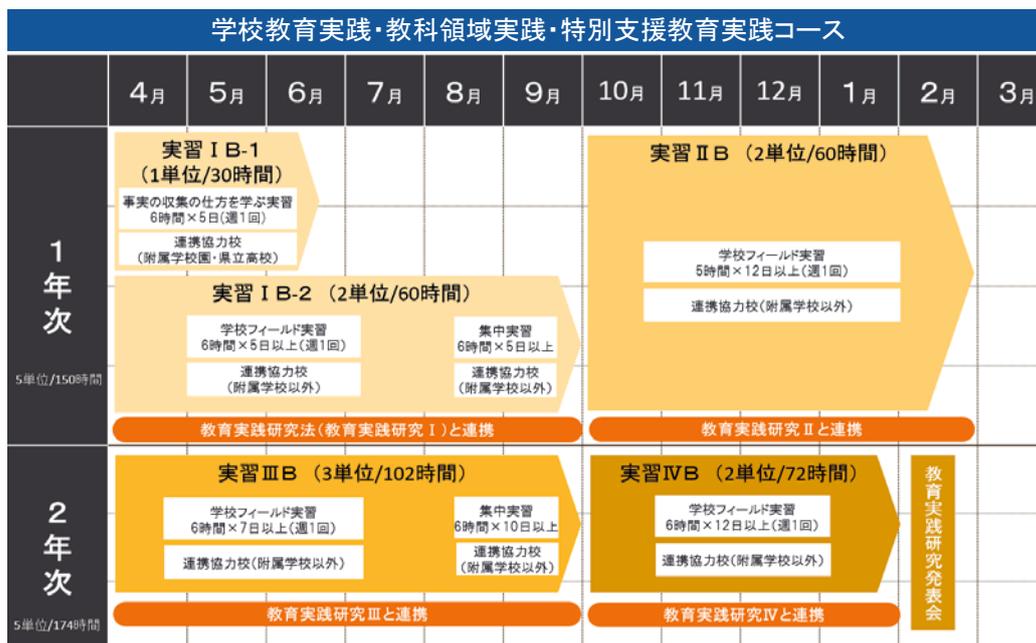
教職大学院の院生にとって教育実習は、実際の学校現場で自らの課題を発見したり仮説を基に実践に挑戦したりする上で重要な学びとなります。

(2) 学校教育実践コース・教科領域実践コース・特別支援教育実践コースの実習

学部卒院生の実習は、まず実習ⅠB-1として幼・小・中・高・特別支援学校における観察実習を行い、事実の収集の仕方や分析の仕方を学びます。そして、実習ⅠB-2・ⅡB・ⅢB・ⅣBでは、実習協力校での実習として、年間を通して週1日（火曜日又は木曜日）、学校の教員と同じように教育活動に取り組みます。また、前期後半には集中実習期間も設定されます。1年次前期の集中実習以後は、大学院教員及び実習校指導教員の指導を受けて、指導案作成・授業実践とその省察に取り組んでいきます。

一般的に学部段階の実習は、学校現場に慣れること、授業をスムーズに展開できることが主たる目的として、授業計画を立案し、それに即して授業を行うことで基本的な力の育成を目指します。これに対して、本教職大学院の学部卒院生の実習は、2年間の長期間にわたるもので、授業はもちろん学校の校務全体を視野に入れて様々な教育活動に参画します。その中で、学校現場や個々の児童生徒の実態を踏まえながら、自ら課題を見だし、その解決に取り組むことを通して、実践的指導力の向上を目指します。

図2 実習の体系(例)



※特別支援教育実践コースも、上記と同じような実習を行います。

○どんな指導体制ですか？

教職大学院の教員を中心としながら、教育学部の教員や、他学部の教員がチームとなって、一人一人の院生に手厚い指導を行っていきます。



福利厚生

授業料等

学生区分	授業料(年額)	授業料(半期)	入学料	検定料
学部学生	535,800円	267,900円	282,000円	17,000円
大学院生	535,800円	267,900円	282,000円	30,000円
研究生	356,400円	178,200円	84,600円	9,800円
科目等履修生	一単位 14,800円		28,200円	9,800円
聴講生	一単位 14,800円		28,200円	9,800円

注意：2024年度授業料です。在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

別途教科書、辞書、参考書代が必要になります。(2万～5万円/年)



入学料減免・授業料減免

以下のいずれかに該当する方で、本学に対して入学料減免及び授業料減免を申請し、許可された方は、入学料及び授業料が減免されます。

減免額は「全額免除」「全額の3分の2免除」「全額の3分の1免除」「全額の4分の1免除」のいずれかになります。

1. 日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者」又は「多子世帯支援対象者」の方(※)
2. 本学入学後に給付奨学生の「在学採用」に申し込み、給付奨学生又は多子世帯支援対象者に採用された方

(※) 予約採用候補者又は多子世帯支援対象者の方は、本学入学後、遅滞なく「進学届」の提出などの所定の手続きをとってください。これら手続きをとらず、日本学生支援機構の給付奨学生又は多子世帯支援対象者に正式採用されなかった場合は、入学料減免・授業料減免は受けられません。

なお、日本学生支援機構の給付奨学生に採用されるためには、国籍や家計所得、学力など日本学生支援機構が定める要件を満たしている必要があります。

日本学生支援機構の給付奨学生への申込み(在学採用)をお考えの方は、はじめに、以下のホームページにて、要件を満たしているか否かをご確認ください。

日本学生支援機構トップページ (<https://www.jasso.go.jp/>)

奨学金の申込資格や支給額、申込方法を知りたい > 申込資格や採用基準を満たしているか知りたい > 進学後に在学している大学等で申し込みたい方 > 給付型奨学金

※上記については、内容が変更となる場合があります。変更がある場合は、本学ホームページにてお知らせします。

弘前大学トップページ (<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>)

弘前大学で学びたい方へ >



入学料・授業料免除等

入学料徴収猶予(延納)・授業料徴収猶予(延納)

日本学生支援機構の給付奨学生の「予約採用候補者」で、入学料及び授業料減免の選考結果が「全額の3分の2免除」、「全額の3分の1免除」又は「全額の4分の1免除」となった方に限り、入学料及び授業料の徴収猶予を申請することができます。徴収猶予申請が許可された場合、入学料及び授業料の納付期限が延長されます。

本学入学後に給付奨学生の「在学採用」に申し込む方は、所定の手続きをとることにより、選考結果が判明するまでの間、入学料及び授業料の納付期限が猶予されます。

なお、「在学採用」は選考結果の判明までに時間を要する関係上、授業料の徴収猶予(延納)申請はできませんが、「在学採用」の選考結果が「全額の3分の2免除」、「全額の3分の1免除」又は「全額の4分の1免除」となった方に限り、入学料の徴収猶予を申請することができます。



充実したキャンパスライフのために、様々なサポート体制を整えています。

奨学金

学業・人物ともに優秀であって、経済的理由により修学が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与又は支給されます。

【日本学生支援機構】(2024年度の例)

日本学生支援機構の貸与奨学金制度には、第一種奨学金(無利息)と、第二種奨学金(利息付)があります。貸与月額等は表のとおりです。

	貸与月額(円)	
第一種奨学金(無利息)	自宅通学	2万・3万・4万5千から選択
	自宅外通学	2万・3万・4万・5万1千から選択
第二種奨学金(利息付)	2万～12万までの間で選択(1万刻み)	

※日本学生支援機構の給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合は、貸与月額が制限されます。詳細は日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

※給付奨学金については、「入料料減免・授業料減免」をご覧ください。

【弘前大学独自の奨学金】

本学では、独自の奨学金制度を設け、意欲的に学ぼうとする学生を支援しています。いずれの奨学金も本人の申請に基づき選考の上、対象者を決定しています。

制度名	内容
岩谷元彰弘前大学育英基金	成績優秀者を対象とする20万円の一括給付奨学金
弘前大学基金 トヨペット 未来の青森県応援事業	青森県出身かつ青森県就職希望者を対象とする25万円の一括給付奨学金
弘前大学生生活支援奨学金	一時的な経済的理由により生活が困難となった者に対する10万円を上限とする生活資金の貸与
弘前大学基金 弘前大学生生活 協同組合学生支援金給付事業	経済的に困難な学生に対して、選考の上、10万円の一括給付奨学金
弘前大学基金 ネットワンシ ステムズ株式会社奨学基金 「優秀学生等奨学支援事業」	学業成績が優秀な学生並びに研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生及び学生団体に対し支援します。



奨学制度

補償

【学生教育研究災害傷害保険】正課中、学校行事に参加している間、キャンパス内における休憩中の不慮の事故、通学中に傷害を受けた場合、医療保険金等が支払われます。

【学生教育研究賠償責任保険】正課中、学校行事およびその往復途中、インターンシップ、介護体験活動、教育実習、学校管理下でのボランティア活動、保育実習およびその往復途中で、他人にけがをさせたり他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償します。



学寮

本学では、自宅から通学できない学生のために学寮を設置しています。

学寮は、学生の勉学に適する環境において自主的に規律された共同生活を体験させ、これを通じて人間形成に資する課外教育施設としての目的をもっています。各寮の詳細については、本学ホームページの学寮案内ページをご覧ください。

学寮名	対象	構造	室数	住所
北浜寮	男子	鉄筋4階建 1人部屋	106室	弘前市緑ヶ丘1-8-4 (教育学部のある文京町キャンパスまで1.8km)
北鷹寮	男子	鉄筋5階建 1人部屋・2人部屋	100室	弘前市学園町1-1 (教育学部のある文京町キャンパスまで2km)
朋寮	女子	鉄筋5階建 1人部屋・2人部屋	117室	
国際交流 会館	男子・ 女子	鉄筋4階建 1人部屋・ ルームシェア	49室	弘前市桔梗野2-20-17 (教育学部のある文京町キャンパスまで1.5km)

課 外 活 動

課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、教養を高める上でも社会の一員として必要な資質を身につける上でも、大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られる様々な体験や学部学科を超えた友人関係の構築など一生忘れることのできない素晴らしい思い出になります。

青字の団体は教育学部教員が顧問を務める団体です。

文化系団体

映画研究会
M.C.Q
弘前大学学祭本部実行委員会
環境サークル わどわ
弘前大学クラシックギタークラブ
劇研マップレス
劇団プランクスター
お笑いサークル WPS
弘前大学混声合唱団
さくらボランティア
弘前大学表千家茶道部
SaBoTen
弘前大学新歓本部実行委員会
児童文化研究部 KIDS'
シミュレーション同好会
弘前大学 JAZZ 研究会
弘前大学全学写真部
弘前大学書道部
弘前大学スティールパン部
聖書研究会
津軽三味線サークル
天文同好会 COSMO
Teens&Law
陶芸倶楽部
フィールドサイエンス研究会
弘前大学吹奏楽団
弘前大学美術部
ひまわりサークル
弘大ラジオサークル
弘前大学マンドリン倶楽部
弘前大学かるた会～ききょう組～
弘前・スライド・ミュージック
弘前大学保健室サークル
弘前大学フィルハーモニー管弦楽団
文芸部
僻地教育研究会
アカペラサークル V.E.L
弘前大学邦楽愛好会
Popular Music 研究会
弘前大学漫画研究会
大道芸サークル Mocha
弘前大学野鳥の会
Light Music Company (L.M.C)
ROCK OFFICE
弘前大学ロボティクス研究会
キャリアサポート研究会
弘前大学グラスハーブアンサンブルアンジェリーク
農家・農村サポートサークル TEAM DANBURI

p.o.k.e
将棋部
弘大囃子組
手話サークルひだまり
Hug
動画制作サークル KAGA
弘前大学華道部
イラスト同好会 api
弘前大学クイズ研究会
弘前大学鉄道研究会
FISHERS
弘大 Hub's
いしてまい
N.B.SQUAD
手芸サークル couture
放送サークル Lacus
弘前大学翻刻部
弘前大学ピアノの会
珈琲研究会
麻雀サークル 天和
落語研究会
ボランティアサークル おひさま
珍味試食サークル
鬼ごっこサークル
献血推進サークル いっとまが
弘前大学中国語サークル
Shadowverse サークル
Libertas.
弘前大学 忍者部
スマブラサークル
スプラトゥーンサークル
防災研鑽の会
マリオカートサークル
弘前大学多文化愛好会 MC
チェンブル
ディズニー研究会 Rat.
ダイザープロダクション
フランス語クラブ
弘前大学囲碁部
神社参詣サークル
電子音楽部
韓国語サークル

体育系団体

弘前大学合気道部
弘前大学アーチェリー部
アメリカンフットボール部
弘前大学居合道部
弘前大学空手道部

器械体操競技部
弘前大学弓道部
弘前大学競技スキー部
弘前大学競技ダンス部
弘前大学剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
弘前大学サイクリング部
弘前大学サッカー部 (男)
弘前大学山岳部
女子ソフトボール部
柔道部
水泳部
全学ソフトテニス部
弘前大学全学卓球部
探検部
軟式野球部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
馬術部
弘前大学バドミントン部
全学男子バレーボール部
全学女子バレーボール部
弘前大学男子ハンドボール部
弘前大学女子ハンドボール部
ポウリング部
弘前大学ラグビーフットボール部
弘前大学陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
相撲部

その他体育系団体

ストリートダンスサークル A.C.T.
アダプテッドスポーツサークル 爽～SO～
オールスター テニスサークル
パラライダーサークル Free Wave
全学バドミントンサークル
弘前大学よさこいサークル HIRODAI 焰舞陣
弘前大学卓球サークル MET
ソフトテニスサークル Orange
古武術研究会
カーリングサークル glacies
K-POP カバーダンススクール Baem
ドッジボールサークル おにゃんこぼん
弘前大学坂道サークルー桜坂ー
弘前大学バーベルクラブ
津軽手踊りサークル
弘前大学カポエイラサークル

就職状況・進路

充実した就職支援体制で、学生一人ひとりに対応します。

教育学部学生の進路

教育学部では青森県をはじめ東北各県や北海道、さらには首都圏などの小・中・高等学校及び幼稚園、特別支援学校に多くの教員を輩出してきました。また、企業や公務員に就職する学生や、大学院に進学する学生もいます。

就職・進学状況

●学校教員

青森県や東北各県・北海道・関東地方の公立学校教員採用状況は、高等学校・中学校においては、高い倍率の教科もあります。その中で、小学校は全国的に競争倍率が低い状況が続いています。また養護教諭は、近年採用数の減少がみられます。また、弘前大学では、教員として優れた実践力を発揮することが期待できる学生を首都圏の教育委員会に推薦しています。この制度を活用して教員になる学生もいます。教員として就職した者のうち約7割は、正規採用されています。就職支援室での指導も充実し、教育学部の教員採用試験の合格率は高水準にあります。

●企業・公務員

企業への就職は、近年採用状況が良好です。是非弘前大学の卒業生がほしいと希望する企業も多くあります。しかし就職希望者が多く、内定をもらうのが困難な企業もあります。学生によっては、地元企業に就職する者、首都圏だけでなく全国を視野に就職活動し採用される者など、様々です。また、公務員への就職は、青森県内各自治体をはじめ、東北地方や首都圏の各自治体に採用されています。教職以上に競争が激しいのが現実ですが、就職者の1割弱が公務員として就職しています。

●進学

大学院への進学は、その年度によって変動があり、5～10%程度です。進学先は弘前大学大学院をはじめ、北海道・東北・関東地方の各大学大学院に研鑽の場を求めています。

就職支援体制

教育学部では、就職支援委員会が中心となり就職支援をしています。さらに、指導教員が学生一人ひとりに対応した個別指導をしています。

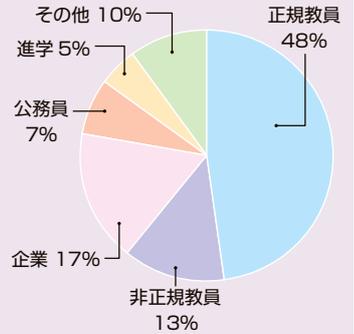
また、弘前大学教育学部内には「教職支援室」が設置されており、充実した学生への教員採用試験対策指導が行われています。教員を目指す学生のために個別指導や集団指導、さらには月1回の教員採用試験対策講座などを開催しています。また、弘前大学教育学部の卒業生を求め、各自治体教育委員会の先生方が来学くださり、教員採用試験説明会を実施しています。

企業・公務員を目指す学生には、全学部学生を対象とした「キャリアセンター」が設置され、企業・公務員ガイダンスやインターンシップ、企業求人票や公務員試験などの情報提供、個別就職相談を頻繁に開催しています。



詳しくはキャリアセンターHPへ

令和5年度卒業生の就職状況 (令和6年5月1日現在) 就職データ



主な就職先 (正規教員・臨時的任用教員) (私学教員を含む)

都道府県	正規採用	非正規採用
北海道	7名	4名
青森県	33名	12名
岩手県	7名	2名
宮城県	6名	2名
秋田県	4名	1名
山形県	2名	2名
福島県	2名	
栃木県		3名
新潟県	3名	
長野県		1名
静岡県	1名	
愛知県	1名	
大阪府	1名	
大分県	1名	
埼玉県※	3名	1名
千葉県※	4名	1名
東京都※	2名	2名
神奈川県※	3名	
総計	80名	31名
(首都圏※合計)	(12名)	(4名)

2024年5月1日現在

校種別教諭数 (正規教員・非正規教員) (私学教員を含む)

小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭
49名	31名	7名
幼稚園教諭	特別支援学校教諭	養護教諭
3名	5名	16名

主な就職先 (企業・公務員)・進学先

	企業等	公務員	進学
青森県	(有)リンゴミュージック、NPO法人 team. Step by step、青森県市町村職員共済組合	青森県職員 青森地方裁判所 厚生労働省 青森労働局 弘前地区消防事務組合	弘前大学大学院
北海道・東北	(株)砂子組、(株)練成会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会、全国農業協同組合連合会 岩手県本部、パーソルキャリア(株)	盛岡地方検察庁 岩手県職員	北海道教育大学大学院 北海道大学大学院
首都圏・全国	杉山農園、(株)ゲオホールディングス、(株)新学社、(株)星野リゾート、(株)オリエンタルランド、(株)ファーストステージ、(株)Giving Back、(株)アットキャド、(株)アミューズ、(株)オープンハウスグループ、(株)カイテクノロジー、(株)キャピタル・アセット・プランニング、(株)グラデーションマネジメント、(株)クリエイト、(株)コドモン、パーソルプロセス&テクノロジー(株)、ハウスコム(株)、住友不動産販売(株)、つぼみグループ	静岡県職員 千葉県警察 君津市職員 小金井市職員	筑波大学大学院 埼玉大学大学院

教職支援室

「教師になる」を支援します。

教師を目指す学生のために「教職支援室」が設置されています。教職支援室では、パワフルな小・中学校長経験者の先生方が、教職キャリア支援コーディネーターとして学生指導にあたっています。教職に関わるあらゆること、教員採用試験に向けての具体的助言などを、一人ひとりと対話を重ね、学生の「教員になる」意識を高めてくれます。①小論文の添削、②願書の添削、③自己PR文の添削、④個人面接・集団面接、⑤集団討論、⑥模擬授業、⑦場面指導、⑧進路相談などに対応し、教育論や人生論も含め、共に考え、経験を伝え、指導してくれます。

教員を目指す多くの学生が「教職支援室」活用に使っています。たくさんの学生が「教師になりたい」から「教師になる」と決意を新たにし、教職の大空に飛び立つスポットでもあります。



教員採用試験対策講座



小論文の指導



模擬授業の指導



進路指導

教職支援室：通常は9時半開室、10時から17時半まで活動



たくさんの資料を利用することができます

子どもたちの笑顔を目指して、これまでいろいろな職場で教育に携わってきました。いろいろな経験をさせてもらった中で思うのは、目の前に子どもたちがいることの幸せです。学校という集団の中で、いろいろな活動や体験を通して子どもたちの笑顔が生まれます。仲間とぶつかり、それでも折り合いをつけて話し合い、一緒に考えるからおもしろい。年下の子にどうやったらわかってもらえるか、一生懸命考え悩み、最後にありがとうって言ってもらえるから楽しい。そこに自然と笑顔が生まれてきます。

みんなちがってみんないい は大事です。ちがうから個性を感じられるからです。ちがう個性が集まって、みんなで力を合わせてゴールに向かうことは、もっと大事です。だから、一人一人が役目を感じる事が大切になるのです。

教職支援室での学びでも、一人一人が目指す教員像に向かって学びを積み重ねていく中で仲間と力を合わせてゴールを目指していく姿は、それに近いものがあります。そんな学びを重ねた皆さんが仲間に入ってくるのを子どもたちは待っています。



佐藤 忠浩

教職キャリア支援コーディネーター

目まぐるしく変化する社会を生きる子どもたちには、様々な出会いや関わりの中で、自己を見つめ、主体的に判断しながらよりよい生き方を実践できる人に育ててほしい。

そのために、学校は一人一人異なる背景をもつ子どもが、友達や仲間と学び合い語り合い、切磋琢磨しながら互いに成長できる場でありたい。そこには、どんな子どもも丸ごと受け止め、深い愛情を注ぎながら、個々のよさや特性を存分に発揮させようと学び合う教師集団がいる。

今年も、「なりたい教師」の青写真を手に、学部の枠を超えたくさんの学生が支援室を訪れている。「なぜ、教師の道を選ぶのか」「自分に、誇れるものはあるのか」・

自問自答を繰り返し、支援室での対話から答えを見つけていく。同じ目標をもつ仲間とチームを作り、励まし合って最後の最後まで諦めない。目の前の壁を、一つ、またひとつ乗り越えた先に「教師になる」覚悟が見えてくる。子どもの幸せを創る教師の姿がそこにあるのが、心から嬉しい。



山田真寿美

教職キャリア支援コーディネーター

高い志をもって教職に就こうと考えている皆さん、「子どもたちが、活力にあふれ、フレッシュな君たちを学校で待っています。」そして、「昔フレッシュだった我々4人は、教職支援室で待っています。」そして、そして、「日本は、君たちのようなやる気のある先生を切望しています。」

「志あるところに道あり」「努力は能力を凌駕する」「無駄になる努力はない」など、皆さんを鼓舞することばはいくらでもあります。今、一番大事なことは、勇気をもって一步を踏み出すことです。最初は、誰でも素人。なりたい自分に向かってガムシャラに努力するときです。その努力がよい結果につながることで、そしてその先にある確かな力量を持った信頼される先生につながることを期待して、教員を目指す皆さんを教職支援室チームは全力でサポートしていきます。まずはどんなところか気軽にのぞきに来てください。お待ちしております。



葛西 裕幸

教職キャリア支援コーディネーター



工藤美代子

教職キャリア支援コーディネーター

「先輩が早く行ったほうが良いよと教えてくれたので。」教職支援室にそう言って入ってくる3年生が何人かいました。先輩の4年生が教員採用試験を終え合格通知が届くと、入れ替えに来年度に向けて3年生が支援室にやってきます。私たちにとってはとても嬉しい言葉です。採用試験に向けて支援室が少しでも力になったことを実感した4年生だからこそ3年生に進めてくれているのですから。支援室には資料がたくさんあります。これまでの先輩たちが残した努力の足跡です。過去数年間の汗と涙(はないかもしれませんが、人知れず涙して書いた人もいたかもしれません。)の小論文の取り組みを綴じたものです。添削された跡がそのまま残っている貴重な資料です。

技術革新が進む中でAIの発達が目覚ましいものがありますが、この先そのAIとってかわられるであろうと予想される職業に教師は含まれてはいません。子どもたちを育てるのはやはり人でなければならないのです。それは支援室に来る皆さんなのです。支援室ではそのために、全力で応援します。

アドミッション・ポリシー

(入学者受入れの方針)

教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 将来、教員になるための素養と、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような学生を求めます。

学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻

- 小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

- 障害等の特別な教育的ニーズを教育、心理、病理などの多方面から理解し支援するために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 将来、特別支援学校等の教員として、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

養護教諭養成課程

- 養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために、自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康に高い関心を持ち、将来、養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

入学志願者に求める学習の取組

- 高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく、取得する教員免許に則した深い学び、課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
- 将来、教員として同僚や児童・生徒、保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように、課外活動やボランティア活動など、多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
- 日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち、困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と、自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

※より詳しい情報は、弘前大学のHP(教育情報)を参照してください。



Q&A

解決！よくある質問

オープンキャンパスでよくいただく御質問にお答えします！

Q 小学校コースに入学した場合、中学校教諭免許や高等学校教諭免許は取得できますか？

A 取得できます。小学校コースでは卒業に必要な授業科目の単位を取ること
で、必ず小学校教諭免許が取得できますが、必要な単位を追加履修することにより種々の教科の中学校教諭免許、高等学校教諭免許、特別支援学校
教諭免許(知・肢・病)も取得可能です。(→P. 6を参照)



Q 中学校コースに入学した場合、小学校教諭免許は取得できますか？

A 取得できます。中学校コースでは卒業に必要な授業科目の単位を取ること
で、入学時に選択した専修(例えば美術)により、その教科(美術)の中学校
教諭免許が必ず取得できますが、必要な単位を追加履修することにより小
学校教諭免許や特別支援学校教諭免許(知・肢・病)も取得可能です。
(→P. 6を参照)



Q 中学校コースのある専修(例えば理科)に入学した場合、その教科(理科)に加えて別の教科の中学校教諭免許(例えば技術)は取得できますか？

A 取得できます。その場合、卒業に必要な授業科目の単位を取ること
で理科の中学校教諭免許が必ず取得できますが、必要な単位を追加履修することにより技術など他の中学校教諭
免許も取得可能です。ただし、時間割が重なった場合は所属する専修の授業が優先します
ので、どの教科の組み合わせも4年間で取得可能な訳ではありません。(→P. 6を参照)



Q 特別支援教育専攻に入学した場合、どの教諭免許が取得できますか？

A 小学校教諭免許、各教科の中学校教諭免許のどれでも取得可能です。特別支
援教育専攻では、特別支援学校教諭免許(知・肢・病)と、小学校教諭免許ま
たは中学校教諭免許(いずれかの教科)を取得することが卒業要件となりま
す。どの教諭免許にするかは入学後に各自が選択します。必要な単位を追加
履修することにより、その他の免許も取得可能です。(→P. 6を参照)



教諭免許取得の一例



※4年間では取得できない免許の組み合わせもあります。



弘前大学

- 1 教育学部
- 2 人文社会科学部
- 3 理工学部
- 4 農学生命科学部
- 5 医学部医学科
- 6 医学部保健学科
医学部心理支援科学科
- 7 附属幼稚園
- 8 附属小・中学校
- 9 附属特別支援学校



弘前大学 教育学部までの交通案内

- 徒歩
JR弘前駅から約2km。「近道ルート」を参照。
- バス
JR弘前駅から約10分。「松原行」「狼森行」「自衛隊行」「聖愛高校行」に乗車、「弘前大学前」で下車。
- タクシー
JR弘前駅から約5分。
- 車
東北自動車道「大鰐弘前IC」または「黒石IC」から約30分。

弘前市へのアクセス

- 新幹線
東京 — (約3時間) はやぶさ — 新青森 — (約30分) 特急つがる — 弘前
新函館北斗 — (約1時間) はやぶさ — 弘前
- JR奥羽本線
青森 — (約30~40分) 特急 — 弘前
秋田 — (約2時間) 特急 — 弘前
- 高速バス
東京 — (約8時間30分) パンダ号 — 弘前
横浜 — (約9時間45分) ノクターン号 — 弘前
仙台 — (約4時間20分) キャッスル号 — 弘前
盛岡 — (約2時間15分) ヨーデル号 — 弘前

- 東北自動車道
川口JCT — (643.7キロ) — 大鰐・弘前I.C. — (約20分) — 弘前
青森I.C. — (11.9キロ) — 浪岡I.C. — (14キロ) — 黒石I.C. — (約20分) — 弘前
- 国道7号
青森 — (40キロ 約1時間) — 弘前
秋田 — (165キロ 約3時間15分) — 弘前



教育学部

Faculty of Education

■弘前大学問合せ先一覧

本学部案内の内容について質問等がある場合は、
下記にお問合わせください。

◎授業内容・カリキュラムについて

教育学部教務担当 TEL 0172-39-3939

◎入学試験について

入試課 TEL 0172-39-3122・3123

◎学生寮について

学生課課外教育担当 TEL 0172-39-3107・3115

◎奨学金・授業料等免除について

学生課経済支援担当 TEL 0172-39-3117・3135

●弘前大学ホームページアドレス

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



●教育学部ホームページアドレス

<https://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/>



●オープンキャンパス動画



<https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/events/open-campus/movie-all/>

●夢ナビ 弘前大学教員による学問のミニ講義



<https://yumenavi.info/portal.aspx?CLGAKOCD=033530&p=all>